



ユーザーズマニュアル

製品名：ギガビット対応 PoE 機能付レイヤー2 マネージドスイッチ
型番：ZMS-G2012P

2022 年 3 月 1 日初版

廃棄方法について

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。

詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本装置のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

輸出に関する注意事項



日本国外へ持ち出す際には輸出該非判定書が必要となる場合がありますので、当社へお問い合わせください。

本装置（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。本装置を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

ご使用上の注意

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

使用している表示と図記号の意味は次の通りです。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。


	誤った取扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、目を傷める可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、水場での機器の使用を禁止することを示しています。
	安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。
	安全のため、電源プラグを必ずACコンセントから抜くように指示するものです。

<電源に関するご注意>







 警告	
 	<p>本装置をAC100±10V（50／60Hz）の電源以外では絶対に使用しないでください。</p> <p>異なる電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから、ACコンセントに差し込んでください。</p> <p>また、半年から一年に一回は電源プラグを点検してください。点検に関してはお問い合わせの販売店または担当のサービスセンタにご相談ください。</p> <p>ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>電源アダプタは、ACコンセントに確実に差し込んでください。</p> <p>電源アダプタの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグをACコンセントに抜き差ししないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>電源アダプタの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。</p> <p>電源アダプタが過熱し、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源アダプタを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。</p> <p>電源アダプタの破損による火災、感電の原因となります。</p>






 	<p>電源アダプタ本体及びケーブルの上にものを載せないでください。</p> <p>電源アダプタの破損による火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源アダプタを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。</p> <p>電源アダプタの損傷による火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>本装置に添付している電源アダプタは、本装置専用です。</p> <p>本装置への電源供給は、本装置に添付している電源アダプタを使用してください。</p> <p>また、本装置に添付している電源アダプタを他装置の電源供給に使用しないでください。</p> <p>火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源アダプタをA Cコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本装置に触れないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p>

注意

	<p>本装置をご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをA Cコンセントから抜いてください。</p>
---	---











<保管および使用環境に関するご注意>

 警告	
 	<p>本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。</p> <p>液体などが本装置に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>本装置をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（80%を超える場所）では使用しないでください。</p> <p>火災、感電の原因となります。</p>

 注意	
 	<p>本装置や電源アダプタを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。</p> <p>電源アダプタの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
 	<p>本装置を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>

	<p>本装置や電源アダプタを直射日光の当たるところや、温度の高いところ(45℃を超える場所)に置かないでください。</p> <p>本装置内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置の側面にある通風孔には物を置かないでください。</p> <p>本装置の側面にある通風孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を卓上設置の場合は、底面が下になるように設置してください。</p> <p>正しく設置しないと転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
<p>本装置をラジオやテレビなどのすぐそばで使用すると、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置が近くにあると、逆に本装置に雑音が入ってくることがあります。このような場合は離して使用してください。</p>	

<禁止事項>

 警告	
  	<p>本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>本装置の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタに依頼してください。</p>
 	<p>本装置の側面にある通風孔など、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
  	<p>本装置内部の分解、改造は絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>
 	<p>本装置に水や液体などを入れる、本装置を濡らすことなどは絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>

注意



本装置の上にものを載せたり、本装置に乗ったりしないでください。

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

破損等により、けがの原因となることがあります。



光インターフェイスをサポートする SFP モジュールを本装置に挿入中は、光コネクタ内部を裸眼、または光学機等を介してのぞかないでください。

目に障害が発生するおそれがあります。











光ケーブルのコネクタ先端部からは光ビームが発生しています。のぞき込まないでください。

のぞき込んだ場合、目を傷める危険性があります。万一、のぞき込んだ場合はただちに医師の診察をお受けください。


<異常時およびトラブルに関するご注意>

 警告	
  	<p>万一、本装置を落したり、破損したりした場合、電源アダプタをA Cコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、本装置の内部に水などの液体が入った場合、電源アダプタをA Cコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、異物が本装置の内部に入った場合、電源アダプタをA Cコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>電源アダプタが傷んだときは、すぐに電源プラグをA Cコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタに修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>


  	<p>万一、本装置や電源アダプタから煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをA Cコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタに修理をご依頼ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
---	--

 注意	
  	<p>落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタをA Cコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。</p> <p>落雷時に、火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、本装置へのケーブル接続をしたりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

<お手入れに関するご注意>



注意



本装置のお手入れをする際は、安全のため、必ず電源アダプタをA Cコンセントから抜いてください。

ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので、注意してください。

構成品

ZMS-G2012P の構成品を以下に示します。構成品一覧に基づいて、品物の不足・破損がないかを確認してください。万一、品物の不足・破損がある場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ZMS-G2012P 構成品

構成品名	数量	備考	
ZMS-G2012P 本体	1		
専用電源アダプタ（本体）	1		添付品
専用電源アダプタ用電源ケーブル（3 極）	1		
コンソールケーブル	1		
ゴム足	4		
ZMS-G2012P 安全にお使いいただくために	1	保証書	

目次

第 1 章 各部の名称と機能	1
ZMS-G2012P 前面	1
ZMS-G2012 背面	2
第 2 章 Web GUI による各種設定	3
2-1 ログイン	3
2-2 Smart Wizard 設定	5
2-2-1 IP アドレス設定	5
2-2-2 パスワード設定	6
2-2-3 SNMP 設定	6
2-3 Web GUI メイン画面の構成	7
2-4 System (システム機能の設定)	8
2-4-1 System Information (システム情報)	8
2-4-2 IPv4 Interface (IPv4 インターフェイス)	8
2-4-3 IPv6 Interface (IPv6 インターフェイス)	9
2-4-4 Port Settings (ポート構成)	10
2-4-5 Jumbo Frame (ジャンボフレーム)	11
2-4-6 PoE System (PoE システム)	11
2-4-7 PoE Status (PoE ステータス)	12
2-4-8 PoE Configuration (PoE 構成)	12
2-4-9 PD Alive (PD アライブ)	13
2-4-10 System Log Settings (システムログ設定)	14
2-4-11 System Log Server Settings (システムログサーバ設定)	14
2-4-12 System Log (システムログ)	15
2-4-13 Clock Settings (時刻設定)	15
2-4-14 Time Zone Settings (タイムゾーン設定)	16
2-4-15 SNTP Settings (SNTP 設定)	18
2-4-16 Time Profile (タイムプロファイル)	18
2-5 Management (マネジメント機能の設定)	19
2-5-1 User Accounts Settings (ユーザーアカウント設定)	19
2-5-2 Password Encryption Settings (パスワード暗号化設定)	19
2-5-3 SNMP Global Settings (SNMP グローバル設定)	20
2-5-4 SNMP View Table Settings (SNMP ビューテーブル設定)	21
2-5-5 SNMP Community Table Settings (SNMP コミュニティテーブル設定)	21

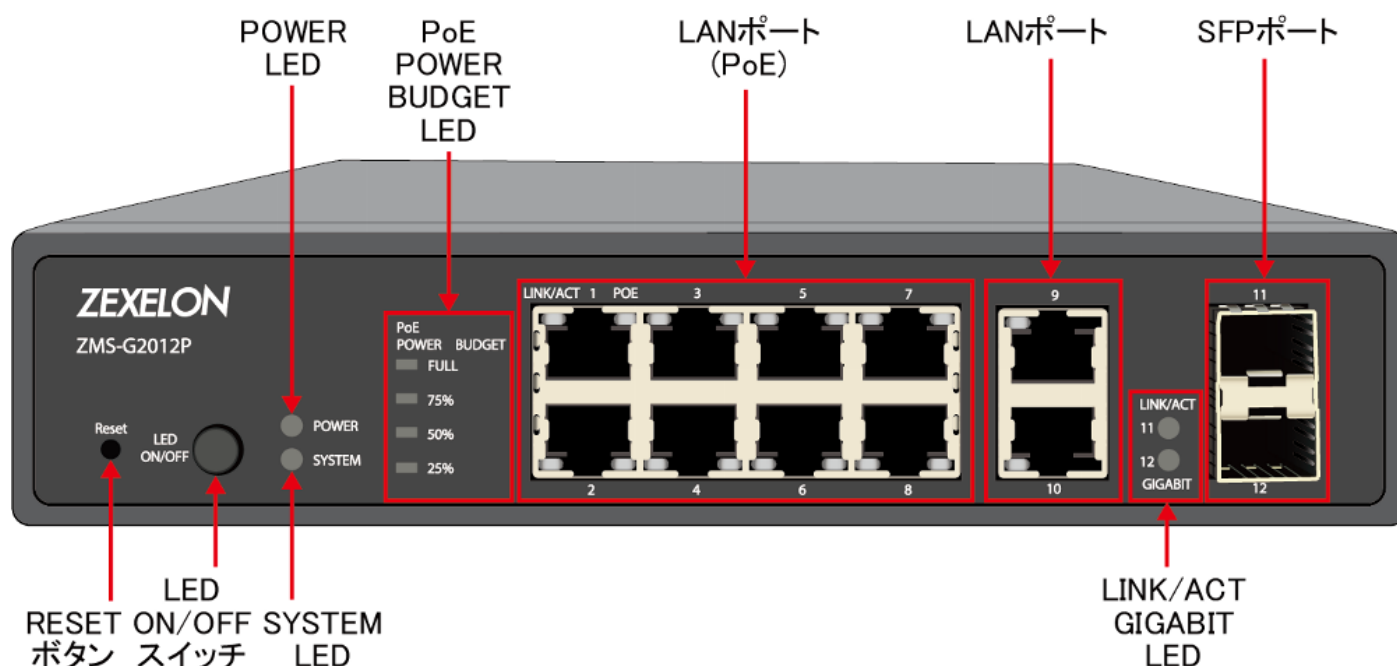
2-5-6 SNMP Group Table Settings (SNMP グループテーブル設定)	22
2-5-7 SNMP Engine ID Local Settings (SNMP エンジン ID ローカル設定)	22
2-5-8 SNMP User Table Settings (SNMP ユーザーテーブル設定)	23
2-5-9 SNMP Host Table Settings (SNMP ホストテーブル設定)	24
2-5-10 RMON Global Settings (RMON 設定)	25
2-5-11 RMON Statistics Settings (RMON 統計情報設定)	25
2-5-12 RMON History Settings (RMON 履歴設定)	25
2-5-13 RMON Alarm Settings (RMON アラーム設定)	26
2-5-14 RMON Event Settings (RMON イベント設定)	27
2-5-15 Telnet Settings (Telnet 設定)	27
2-5-16 HTTP/HTTPS (HTTP/HTTPS 設定)	27
2-6 L2Features (レイヤー2 機能の設定)	28
2-6-1 Unicast Static FDB (ユニキャストスタティック FDB)	28
2-6-2 Multicast Static FDB (マルチキャストスタティック FDB)	28
2-6-3 MAC Address Table Settings (MAC アドレステーブル設定)	29
2-6-4 MAC Address Table (MAC アドレステーブル)	29
2-6-5 VLAN Configuration Wizard (VLAN 設定)	30
2-6-6 802.1Q VLAN (VLAN 管理)	31
2-6-7 Management VLAN Settings (マネジメント VLAN 設定)	31
2-6-8 GVRP Global (GVRP グローバル)	32
2-6-9 GVRP Port (GVRP ポート)	33
2-6-10 GVRP Advertise VLAN (GVRP アドバタイズ VLAN)	33
2-6-11 GVRP Forbidden VLAN (GVRP フォービドゥン VLAN)	34
2-6-12 Asymmetric VLAN (アシメトリック VLAN)	34
2-6-13 VLAN Interface (VLAN インターフェイス)	35
2-6-13-1 VLAN Interface Information (VLAN インターフェイス情報)	35
2-6-13-2 Configure VLAN Interface (VLAN インターフェイス設定)	36
2-6-14 Auto Surveillance Properties (自動サーベイランスプロパティ)	37
2-6-15 MAC Settings and Surveillance Device (MAC 設定とサーベイランスデバイス)	38
2-6-16 ONVIF IP-Camera Information (オンビフ IP カメラ情報)	38
2-6-17 ONVIF NVR Information (オンビフ NVR 情報)	39
2-6-18 Voice VLAN Global (音声 VLAN グローバル)	39
2-6-19 Voice VLAN Port (音声 VLAN ポート)	40
2-6-20 Voice VLAN OUI (音声 VLAN OUI)	40
2-6-21 Voice VLAN Device (音声 VLAN デバイス)	41
2-6-22 Spanning Tree Global Settings (スパニングツリーグローバル設定)	41
2-6-23 STP Port Settings (STP ポート設定)	42
2-6-24 MST Configuration Identification (MST インスタンス設定)	42
2-6-25 STP Instance (STP インスタンス)	43
2-6-26 MSTP Port Information (MSTP ポート情報)	43

2-6-27 ERPS (ERPS 設定)	43
2-6-27-1 Edit Ethernet Ring (イーサネットリング編集)	44
2-6-27-2 ERPS Status (ERPS ステータス)	44
2-6-27-3 Edit Ethernet Instance (イーサネットインスタンス編集)	45
2-6-28 ERPS Profile (ERPS プロファイル)	46
2-6-28-1 Edit Ethernet Profile (イーサネットプロファイル編集)	46
2-6-29 Loopback Detection (ループバック検知機能)	47
2-6-30 Link Aggregation (リンクアグリゲーション)	48
2-6-31 IGMP Snooping Settings (IGMP スヌーピング設定)	49
2-6-32 IGMP Snooping Groups Settings (IGMP Snooping グループ設定)	50
2-6-33 MLD Snooping Settings (MLD Snooping 設定)	51
2-6-34 MLD Snooping Groups Settings (MLD Snooping グループ設定)	52
2-6-35 Multicast Filtering (マルチキャストフィルタリング)	53
2-6-36 LLDP Global Settings (LLDP グローバル設定)	53
2-6-37 LLDP Neighbor Port Information (LLDP 受信ポート情報)	53
QOS (QOS 機能の設定)	54
2-7-1 802.1p Priority Settings (802.1p 優先制御)	54
2-7-2 Port Rate Limiting (ポート転送速度制限)	55
2-7-3 Port Trust State (ポートの信頼性)	55
2-7-4 DSCP CoS Mapping (DSCP CoS マッピング)	56
Security (セキュリティ機能の設定)	57
2-8-1 Port Security Port Settings (ポートセキュリティ設定)	57
2-8-2 Port Security Address Entries (ポートセキュリティアドレスエントリー)	58
2-8-3 802.1X Global Settings (802.1X グローバル設定)	58
2-8-4 802.1X Port Settings (802.1X ポート設定)	59
2-8-5 802.1X Local-user (802.1X ローカルユーザー)	59
2-8-6 Authentication Sessions Information (再認証セッション情報)	60
2-8-7 Authenticator Statistics (オーセンティケータ統計情報)	60
2-8-8 RADIUS Global Settings (RADIUS グローバル設定)	61
2-8-9 RADIUS Server Settings (RADIUS サーバ設定)	61
2-8-10 RADIUS Statistic Settings (RADIUS 統計情報設定)	61
2-8-11 Web Authentication (Web 認証)	62
2-8-12 WAC Port Settings (WAC ポート設定)	62
2-8-13 WAC Customize Page (WAC カスタマイズページ)	63
2-8-14 Traffic Segmentation Settings (トラフィックセグメンテーション設定)	63
2-8-15 Storm Control Settings (ストームコントロール設定)	64
2-8-16 Dos Attack Prevention Settings (Dos 攻撃防止設定)	64
2-8-17 SSH Global Settings (SSH グローバル設定)	65
2-8-18 SSL Global Settings (SSL グローバル設定)	65

OAM (OAM 機能の設定)	66
2-9-1 Cable Diagnostics (ケーブル診断機能).....	66
2-9-2 DDM Settings (DDM 設定).....	67
2-9-3 DDM Temperature Threshold Settings (DDM 温度しきい値設定)	68
2-9-4 DDM Voltage Threshold Settings (DDM 電圧しきい値設定)	68
2-9-5 DDM Bias Current Threshold Settings (DDM 電流しきい値設定).....	69
2-9-6 DDM TX Power Threshold Settings (DDM 送信電力しきい値設定).....	69
2-9-7 DDM RX Power Threshold Settings (DDM 受信電力しきい値設定)	70
2-9-8 DDM Status Table (DDM ステータステーブル)	70
Monitoring (モニタリング機能の設定)	71
2-10-1 Port Counters (ポートカウンタ).....	71
2-10-2 Mirror Settings (ミラーリング設定)	72
Green (省電力テクノロジー)	73
2-11-1 Power Saving (節電設定).....	73
2-11-2 EEE (省電力イーサネット).....	74
Tools (Tools メニュー)	75
2-12-1 Firmware Information (ファームウェア情報).....	75
2-12-2 Firmware Upgrade from HTTP (HTTP を使用したファームウェア更新).....	75
2-12-3 Firmware Upgrade from TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェア更新)	75
2-12-4 Firmware Backup to HTTP (HTTP を使用したファームウェアバックアップ).....	76
2-12-5 Firmware Backup to TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェアバックアップ)	76
2-12-6 Configuration Restore from HTTP (HTTP を使用した設定読み込み)	77
2-12-7 Configuration Restore from TFTP (TFTP サーバを使用した設定読み込み)	77
2-12-8 Configuration Backup to HTTP (HTTP を使用した設定のバックアップ)	78
2-12-9 Configuration Backup to TFTP (TFTP サーバを使用した設定のバックアップ)	78
2-12-10 Log Backup to HTTP (HTTP を使用したログのバックアップ)	79
2-12-11 Log Backup to TFTP (TFTP サーバを使用したログのバックアップ)	79
2-12-12 Ping (Ping テスト)	79
2-12-13 Reset (初期化)	80
2-12-14 Reboot System (再起動)	80
Save (Save メニュー)	81
2-13-1 Save configuration (設定の保存).....	81
製品仕様.....	812

第 1 章各部の名称と機能

ZMS-G2012P 前面



「POWER LED」…電源投入時に点灯します。

「SYSTEM LED」…システム起動時に点灯します。

「PoE POWER BUDGET LED」…PoE電力残量を表示します。

「LANポート (POE)」…LANケーブルによるPoE給電およびデータ送受信行えます。

「LANポート」…LANケーブルによるデータ送受信行えます。

「SFPポート」…光ファイバーケーブルによるデータ送受信行えます。※別途SFPモジュールが必要となります。

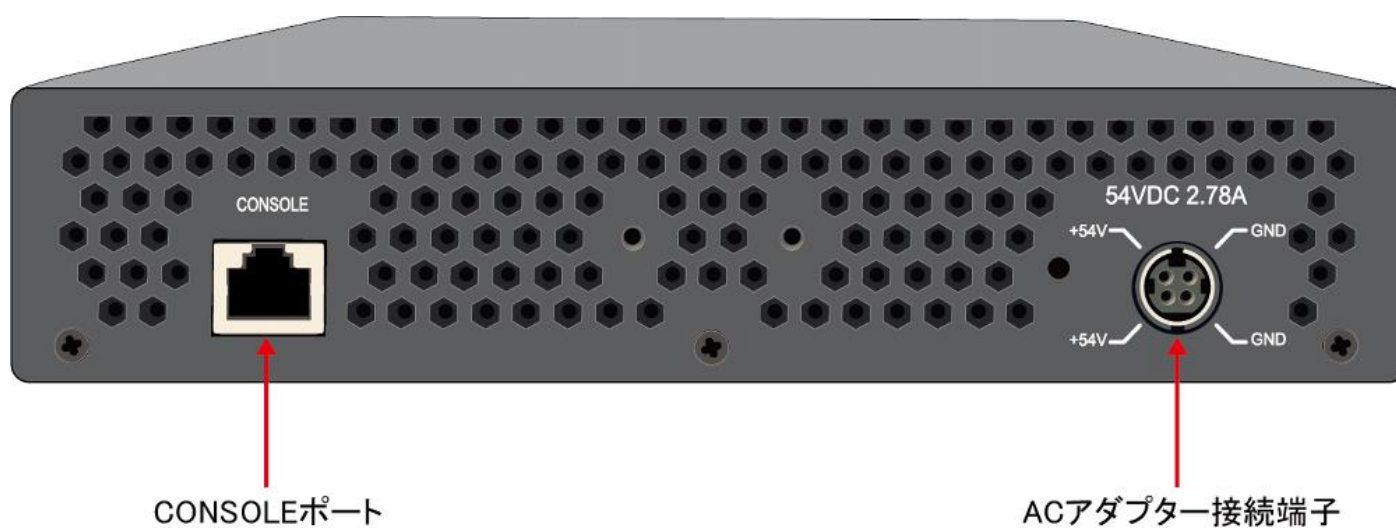
「LINK/ACT GIGABIT LED」…「SFP」端子のリンク状態を表示します。

「RESETボタン」…5秒以上押すとすべての設定が工場出荷時の状態にリセットされます。

「LED ON/OFFスイッチ」…POWER以外のLEDのON/OFF設定が行えます。

※LED表示の詳細についてはP83の製品仕様をご参照ください。

ZMS-G2012 背面



「CONSOLEポート」…CLIによる設定時等にコンソールケーブルを接続します。

「ACアダプタ接続端子」…付属のACアダプタと接続します。

第2章 Web GUI による各種設定

本製品の設定は、GUIおよびCLIを使用して行うことができます。

本章ではGUIを使用した各種設定について説明します。

設定にあたり、設定用PCと本製品をLANケーブルで直接または他の通信機器を経由して接続してください。

※設定を保存する際はSaveを行ってください。

2-1 ログイン

1. コンピュータでブラウザを起動します。

2. スイッチのIPアドレスを入力します。

 192.168.0.1

※工場出荷時設定では、IPアドレス「192.168.0.1」、サブネットマスク「255.255.255.0」が設定されています。

ログインするには、設定用PCのIPアドレスを本スイッチに合わせるか、本スイッチを設定用PCのIPアドレスに合わせてください。

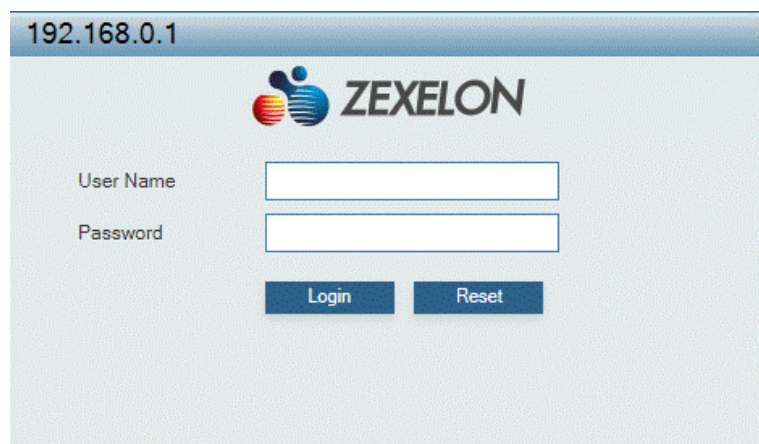
【例】スイッチのIPアドレスが192.168.0.1の場合：

以下のとおりに設定します。

設定用PCのアドレス：192.168.0.z（zは1-254の間の整数）

サブネットマスク：255.255.255.0

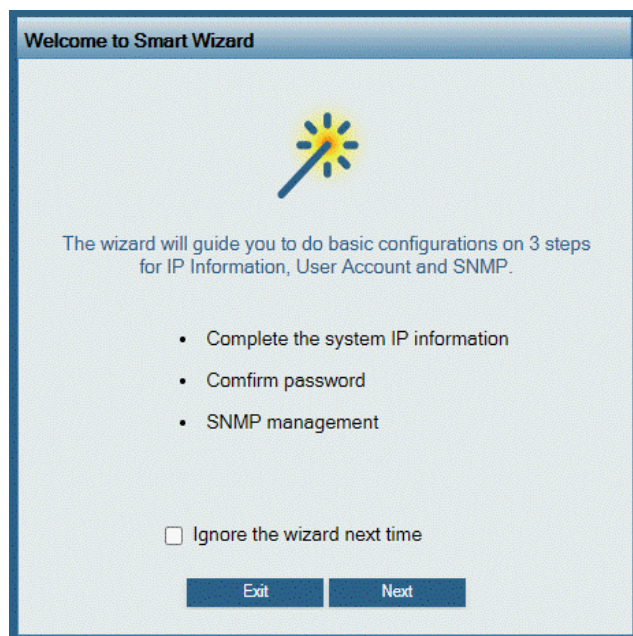
3. ユーザー認証画面で、ユーザーネーム・パスワードを入力し、「Login」をクリックします。



The image shows the ZEXELON login interface. At the top, the IP address '192.168.0.1' is displayed. Below it is the ZEXELON logo. The login form consists of two input fields: 'User Name' and 'Password'. Below these fields are two buttons: 'Login' and 'Reset'.

※ユーザーネーム・パスワードの初期値は「admin」です。

4.スマートウィザード画面が表示されます。



ウィザード画面では、IP アドレス・パスワード・SNMP の設定を行うことができます。

ウィザードを使用して設定する場合は、P5の「2-2 Smart Wizard設定」を参照してください。

5. ウィザードを使用しない場合は、「Exit」をクリックします。

※本画面を再表示しない場合は「Ignore the wizard next time」にチェックを入れてください。

6.以下のWeb GUIメイン画面が表示されます。

Fuzzy Search

ZMS-G2012P
+ System
+ Management
+ L2 Features
+ QoS
+ Security
+ OAM
+ Monitoring
+ Green
+ Tools
Smart Wizard
Save
Logout

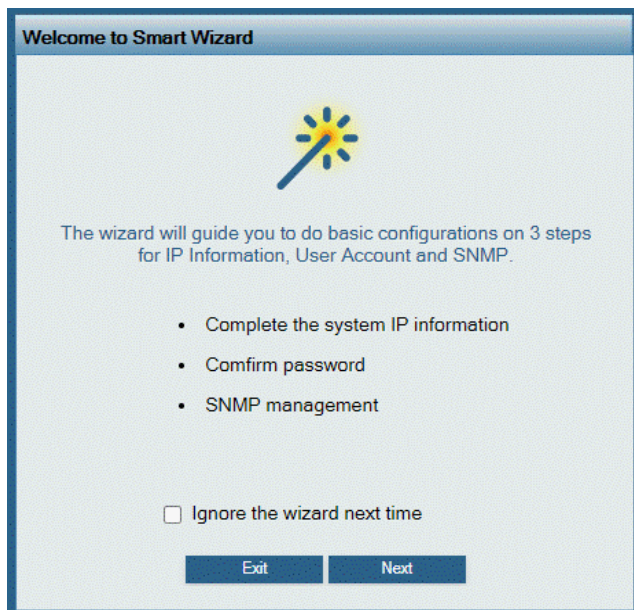
Device Information

Device Information

Device Type	ZMS-G2012P Layer 2 managed 8 Port PoE+ Switch	MAC Address	d8-09-d6-00-00-01
System Name	Switch	IP Address	192.168.0.1
System Location		Mask	255.255.255.0
System Contact		Gateway	Settings
Boot PROM Version	Ver 1.00.004	System Time	10:57:26, 2022-08-04
Firmware Version	Ver 1.00.04	Serial Number	ZL21Z0000001
Hardware Version	A1		

2-2 Smart Wizard 設定

「Smart Wizard」で基本的なシステム設定(IPアドレス、パスワード、SNMP)を行います。



1. 「Next」をクリックします。

※本画面を再表示しない場合は「Ignore the wizard next time」にチェックを入れ「Next」をクリックします。

2-2-1 IP アドレス設定



1. 「Static」「DHCP」のいずれかをクリックします。

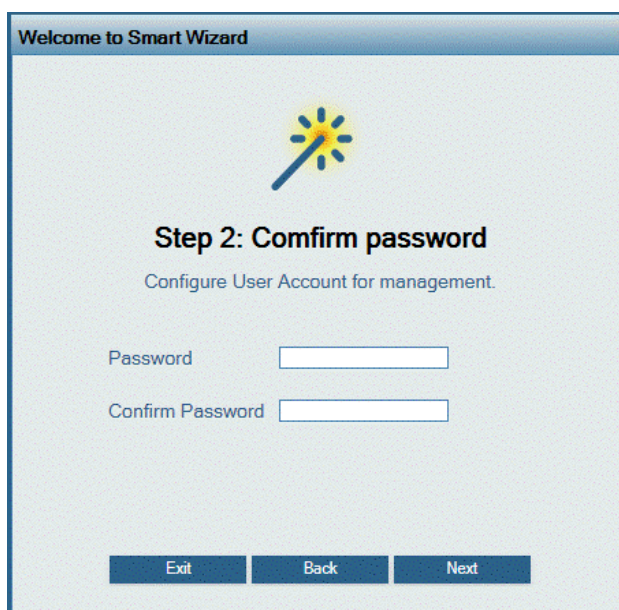
「Static」：固定設定

「DHCP」：DHCPによる自動取得

2. 「Static」を選択した場合は、「IP Address」「Netmask」「Gateway」を入力または選択します。


3. 「Next」をクリックします。

2-2-2 パスワード設定



1. 「Password」欄に新しいパスワードを入力します。
2. 「Confirm Password」欄に確認のため再度同じパスワードを入力します。
3. 「Next」をクリックします。

2-2-3 SNMP 設定



1. 「Enabled」または「Disabled」を選択します。
2. 「Apply&Save」をクリックします。※Web GUIメイン画面が表示されます。

※本画面の「Apply&Save」で設定の保存はされません。

2-3 Web GUI メイン画面の構成

Web GUIのメイン画面は2つのエリアで構成されています。

Fuzzy Search

ZMS-G2012P

- + System
- + Management
- + L2 Features
- + QoS
- + Security
- + OAM
- + Monitoring
- + Green
- + Tools
- Smart Wizard
- Save
- Logout

Device Information

Device Information

Device Type	ZMS-G2012P Layer 2 managed 8 Port PoE+ Switch	MAC Address	d8-09-d6-00-00-01
System Name	Switch	IP Address	192.168.0.1
System Location		Mask	255.255.255.0
System Contact		Gateway	Settings
Boot PROM Version	Ver 1.00.004	System Time	10:57:26, 2022-08-04
Firmware Version	Ver 1.00.04	Serial Number	ZL21Z0000001
Hardware Version	A1		

エリア1

エリア2

エリア1（機能一覧）：表示するメニューを選択します。メニューアイコンを開いて、サブメニューを表示します。

エリア2 Device Information（デバイス情報）：IP アドレスなど、スイッチ設定情報が表示されます。

2-4 System（システム機能の設定）

2-4-1 System Information（システム情報）

「System」→「System Information Settings」→「System Information」の順にクリックします。

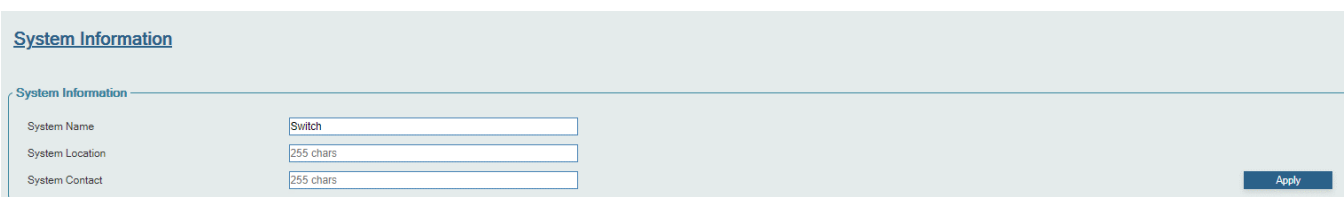
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「System Name」：システム名を入力します。

「System Location」：設置場所を入力します。

「System Contact」：担当者名を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



2-4-2 IPv4 Interface（IPv4 インターフェイス）

「System」→「System Information Settings」→「IPv4 Interface」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Get IP From」：「Static」または「DHCP」を選択します。

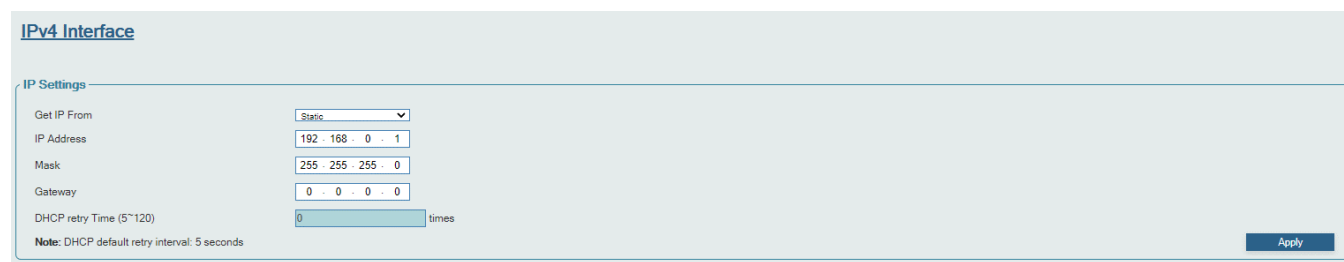
「IP Address」：IPアドレスを入力します。※「Static」選択時

「Mask」：サブネットマスクを入力します。※「Static」選択時

「Gateway」：ゲートウェイを入力します。※「Static」選択時

「DHCP retry Time(5~120)」:IPアドレスのリース時間を入力します。※「DHCP」選択時

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



2-4-3 IPv6 Interface (IPv6 インターフェイス)

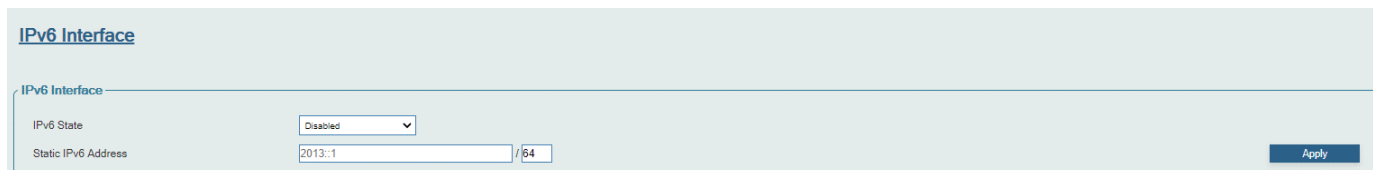
「System」 → 「System Information Settings」 → 「IPv6 Interface」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「IPv6 State」 : 「Enabled」 または 「Disabled」 を選択します。

「Static IPv6 Address」 : IPアドレスを入力します。※ 「Enabled」 選択時

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



IPv6 Interface	
IPv6 State	Disabled
Static IPv6 Address	2013::1 / 64
Apply	

2-4-4 Port Settings（ポート構成）

「System」→「Port Configuration」→「Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「MDIX」：MDIX機能の動作を選択します。

- 選択肢：「Auto」「Normal」「Cross」

「Flow control」：フローコントロールの動作を選択します。

- 選択肢：「On」「Off」

「Duplex」：通信方式を選択します。

- 選択肢：「Auto」「Half」「Full」

「Speed」：ポートスピードを選択します。

- 選択肢：「Auto」「10M」「100M」「1000M」

「Description」：ポート説明を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Port Settings

From Port

To Port

State

MDIX

Flow Control

eth1/0/1

eth1/0/1

Enabled

Auto

Off

Duplex

Speed

Description

Auto

Auto

64 chars

Apply

Port	Link Status	State	MDIX	Flow Control	Duplex	Speed	Description
eth1/0/1	1000M-Full	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/2	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/3	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/4	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/5	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/6	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/7	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/8	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/9	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/10	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/11	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/12	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	

2-4-5 Jumbo Frame（ジャンボフレーム）

「System」→「Port Configuration」→「Jumbo Frame」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「Maximum Receive Frame Size（1518-9600）」：フレームサイズを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Jumbo Frame

From Port: To Port: Maximum Receive Frame Size (1518-9600): bytes

[Apply](#)

Port	Maximum Receive Frame Size (bytes)
eth1/0/1	1518
eth1/0/2	1518
eth1/0/3	1518
eth1/0/4	1518
eth1/0/5	1518
eth1/0/6	1518
eth1/0/7	1518
eth1/0/8	1518
eth1/0/9	1518
eth1/0/10	1518
eth1/0/11	1518
eth1/0/12	1518

2-4-6 PoE System（PoE システム）

「System」→「PoE」→「PoE System」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Usage Threshold（1-99）」：PoE電源の電力使用量監視しきい値を入力します。

「Trap State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

PoE System

Usage Threshold (1-99): % Trap State:

[Apply](#)

Delivered (w)	Power Budget (w)	Usage Threshold (%)	Trap State
0.0	120	99	Disabled

2-4-7 PoE Status (PoE ステータス)

「System」 → 「PoE」 → 「PoE Status」 の順にクリックします。

PoEステータスが表示されます。

[PoE Status](#)

PoE Status

Port	State	Class	Max (W)	Used (W)
eth1/0/1	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/2	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/3	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/4	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/5	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/6	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/7	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/8	Searching	Class-0	0.0	0.0

2-4-8 PoE Configuration (PoE 構成)

「System」 → 「PoE」 → 「PoE Configuration」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」: 設定対象のポート範囲を選択します。

「Priority」: 指定ポートの電力供給の優先度を選択します。

- 選択肢: 「Critical」 「High」 「Low」

「Mode」: PoEのモードを選択します。

- 選択肢: 「Auto」 「Never」

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

[PoE Configuration](#)

PoE Configuration

From Port: To Port: Priority: Mode: Time Profile:

Port	Admin	Priority	Time Profile
eth1/0/1	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/2	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/3	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/4	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/5	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/6	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/7	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/8	auto	Low	Delete Time Profile

2-4-9 PD Alive (PD アライブ)

「System」 → 「PoE」 → 「PD Alive」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

PD Alive Configuration

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「PD Alive State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「PD IP Address」：PDのIPアドレスを入力します。

「Poll interval (10-300)」：システムからPDに「Ping」を送信する間隔を入力します。

「Retry Count (0-5)」：PDに無反応の場合に再度「Ping」を送信する回数を入力します。

「Waiting Time(30-300)」：リセット後にシステムからPD に「Ping」を送信するまでの待機時間を入力します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Reset」「Never」「Both」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

PD Alive

PD Alive Configuration

From Port

eth1/0/1

To Port

eth1/0/1

PD Alive State

Disabled

PD IP Address

Poll Interval (10-300)

30

sec

Retry Count (0-5)

2

Waiting Time (30-300)

90

sec

Action

Both

Apply

Port	PD Alive State	PD IP Address	Poll Interval	Retry Count	Waiting Time	Action
eth1/0/1	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/2	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/3	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/4	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/5	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/6	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/7	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/8	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both

2-4-10 System Log Settings（システムログ設定）

「System」→「System Log」→「System Log Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Global State

「System Log」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Buffer Log Settings

「Buffer Log State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

System Log Settings

Global State

System Log Apply

Buffer Log Settings

Buffer Log State Apply

2-4-11 System Log Server Settings（システムログサーバ設定）

「System」→「System Log」→「System Log Server Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Log Server

「Host IPv4 Address」：ログサーバのIP v 4アドレスを入力します。

「Facility」：ログの種類を選択します。

「UDP Port（514、1024-65535）」：ログが送信されるUDP ポートを入力します。

「Severity」：ログの重要度を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

System Log Server Settings

Log Server

Host IPv4 Address Facility Apply

UDP Port (514,1024-65535) Severity

Server IP Address	Severity	Facility	UDP Port
0.0.0.0	Informational	23	514

2-4-12 System Log (システムログ)

「System」→「System Log」→「System Log」の順にクリックします。

システムログが表示されます。

※「Clear Log」をクリックするとシステムログが消去されます。

System Log
Clear Log

Total Entries: 100

Index	Time	Level	Log Description
174	01:08:52, 2021-10-14	INFO(6)	Successful login thr...
173	01:07:54, 2021-10-14	INFO(6)	Web session timed ou...
172	00:59:16, 2021-10-14	INFO(6)	Successful login thr...
171	23:13:39, 2021-10-13	INFO(6)	Web session timed ou...
170	23:07:42, 2021-10-13	INFO(6)	Successful login thr...
169	20:03:54, 2021-10-12	INFO(6)	Web session timed ou...
168	19:58:49, 2021-10-12	INFO(6)	Successful login thr...
167	19:58:24, 2021-10-12	INFO(6)	Web session timed ou...
166	19:51:38, 2021-10-12	INFO(6)	Successful login thr...
165	19:44:59, 2021-10-12	INFO(6)	Web session timed ou...
164	19:41:55, 2021-10-12	INFO(6)	Successful login thr...
163	19:39:30, 2021-10-12	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
162	19:37:50, 2021-10-12	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
161	19:37:50, 2021-10-12	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
160	23:59:20, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
159	23:59:03, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
158	23:58:49, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
157	23:58:49, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
156	23:58:44, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
155	23:58:44, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
154	23:58:41, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
153	23:58:40, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
152	23:58:37, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
151	23:58:35, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
150	23:58:22, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...

1/4
1
2
3
Go

2-4-13 Clock Settings (時刻設定)

「System」→「Time」→「Clock Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Time (HH:MM:SS)」：時刻を入力します。

「Date (DD/MM/YYYY)」：日付を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Clock Setting

Clock Settings

Time (HH:MM:SS)
01:17:20

Date (DD / MM / YYYY)
14/10/2021

Apply

2-4-14 Time Zone Settings (タイムゾーン設定)

「System」→「Time」→「Time Zone Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Summer Time State」:サマータイムの種類を設定します。

- 選択肢:「Disabled」「Recurring Setting」「Date Setting」

「Time Zone」:GMTからのオフセット時間を選択します。

Recurring Setting ※Recurring Setting選択時

「From:Week of the Month」:月の第何週からサマータイムが始まるかを選択します。

「From:Day of the Week」:サマータイムが開始する曜日を選択します。

「From: Month」:サマータイムが開始する月を選択します。

「From:Time(HH:MM)」:サマータイムが開始する時間を選択します。

「To:Week of the Month」:月の第何週でサマータイムが終わるかを選択します。

「To:Day of the Week」:サマータイムが終了する曜日を選択します。

「To: Month」:サマータイムが終了する月を選択します。

「To:Time(HH:MM)」:サマータイムが終了する時間を選択します。

「Offset」:サマータイムによる調整時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Date Setting ※Date Setting選択時

「From:Date of the Month」:サマータイムが開始する日付を選択します。

「From: Month」:サマータイムが開始する曜日を選択します。

「From: Year」:サマータイムが開始する年を入力します。

「From:Time(HH:MM)」:サマータイムが開始する時間を選択します。

「To: Date of the Month」:サマータイムが終了する日付を選択します。

「To:Day Month」:サマータイムが終了する月を選択します。

「To: Year」:サマータイムが終了する年を入力します。

「To:Time(HH:MM)」:サマータイムが終了する時間を選択します。

「Offset」:サマータイムによる調整時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Time Zone Settings

Summer Time State Disabled

Time Zone + 0 0

Recurring Setting

From: Week of the Month Last

From: Day of the Week Sun

From: Month Jan

From: Time (HH:MM) 00 00

To: Week of the Month Last

To: Day of the Week Sun

To: Month Jan

To: Time (HH:MM) 00 00

Offset 60

Date Setting

From: Date of the Month 01

From: Month Jan

From: Year

From: Time (HH:MM) 00 00

To: Date of the Month 01

To: Month Jan

To: Year

To: Time (HH:MM) 00 00

Offset 60

Apply

2-4-15 SNTP Settings (SNTP 設定)

「System」→「Time」→「SNTP Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SNTP Global Settings

「SNTP State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

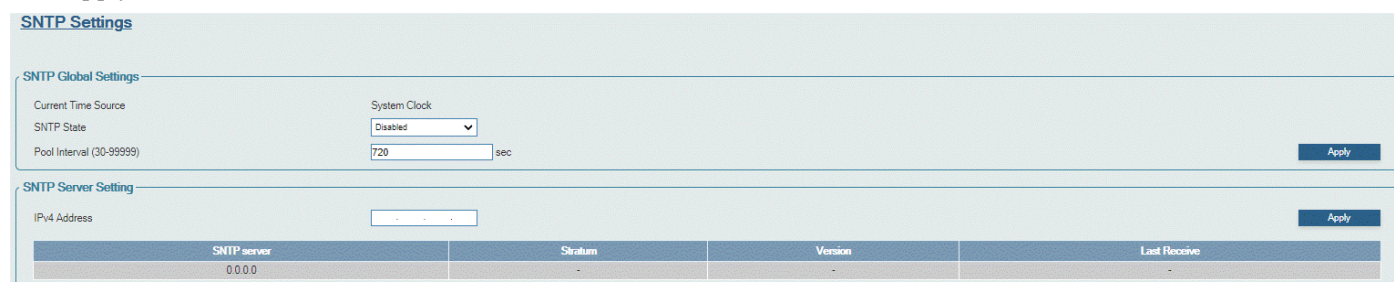
「Pool Interval (30-99999)」: ポーリング間隔を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

SNTP Server Setting

「IPv4アドレス」: 外部時刻サーバのIPv4アドレスを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'SNTP Settings' page. It has two main sections: 'SNTP Global Settings' and 'SNTP Server Setting'. In 'SNTP Global Settings', there are fields for 'Current Time Source' (set to 'System Clock'), 'SNTP State' (a dropdown menu currently showing 'Disabled'), and 'Pool Interval (30-99999)' (a text input field containing '720'). An 'Apply' button is at the bottom right. The 'SNTP Server Setting' section has an 'IPv4 Address' field (empty) and another 'Apply' button. Below these sections is a table with the following headers: 'SNTP server', 'Stratum', 'Version', and 'Last Receive'. The table currently shows one entry with '0.0.0.0' in the 'SNTP server' column and dashes in the others.

2-4-16 Time Profile (タイムプロファイル)

「System」→「Time Profile」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Range Name」: プロファイル名を入力します。

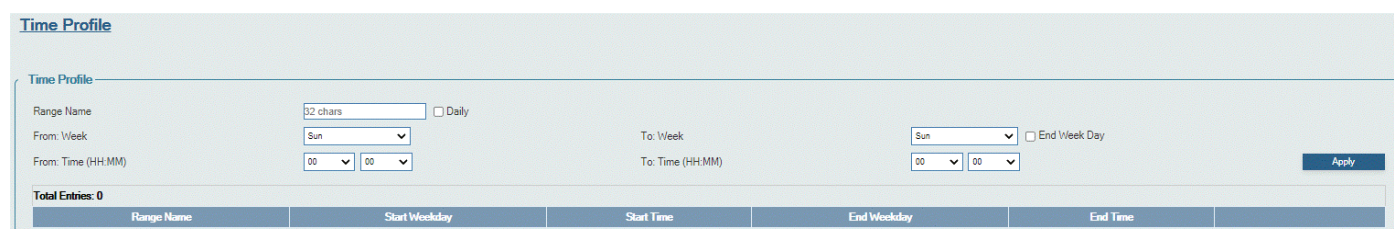
「From: Week」: 開始する曜日を選択します。

「From: Time(HH:MM)」: 開始する時刻を選択します。

「To: Week」: 終了する曜日を選択します。

「To: Time(HH:MM)」: 終了する時刻を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'Time Profile' page. It has a 'Time Profile' section with fields for 'Range Name' (a text input field with '32 chars' limit), 'From: Week' (a dropdown menu showing 'Sun'), 'From: Time (HH:MM)' (two dropdown menus for hours and minutes, both showing '00'), 'To: Week' (a dropdown menu showing 'Sun'), and 'To: Time (HH:MM)' (two dropdown menus for hours and minutes, both showing '00'). There are checkboxes for 'Daily' and 'End Week Day'. An 'Apply' button is at the bottom right. Below this section is a table with the following headers: 'Range Name', 'Start Weekday', 'Start Time', 'End Weekday', and 'End Time'. The table currently shows 'Total Entries: 0' and no data rows.

2-5 Management（マネジメント機能の設定）

2-5-1 User Accounts Settings（ユーザーアカウント設定）

「Management」→「User Accounts Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

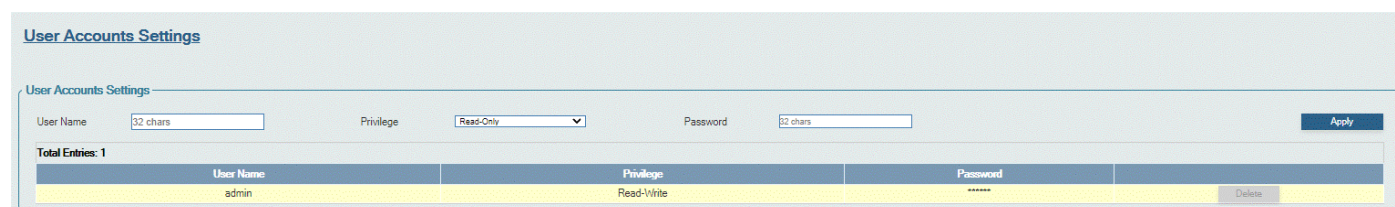
「User Name」:ユーザー名を入力します。

「Privilege」:権限を選択します。

- 選択肢:「Read-Only」「Read-Write」

「Password」:パスワードを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



User Accounts Settings

User Accounts Settings

User Name Privilege Password

Total Entries: 1

User Name	Privilege	Password	
admin	Read-Write	*****	<input type="button" value="Delete"/>

2-5-2 Password Encryption Settings（パスワード暗号化設定）

「Management」→「Password Encryption」の順にクリックします。

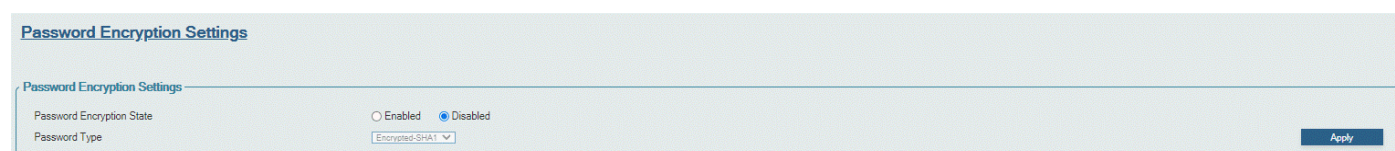
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Password Encryption State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Password Type」: パスワードの種類を選択します。

- 選択肢:「Encrypted-SHA1」「Encrypted-MD5」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



Password Encryption Settings

Password Encryption Settings

Password Encryption State ☐ Enabled ☒ Disabled

Password Type

2-5-3 SNMP Global Settings (SNMP グローバル設定)

「Management」→「SNMP」→「SNMP Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SNMP Global Settings

「SNMP Global State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

Trap Settings

「Trap Global State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

トラップするイベントにチェックを入れます。

「SNMP Authentication Trap」：認証エラー通知を送信します。

「Device Bootup」：起動通知を送信します。

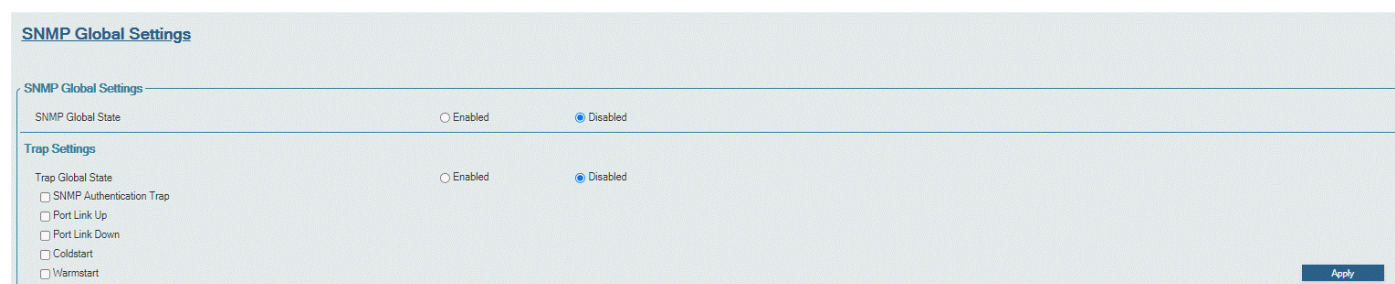
「Port Link Up」：ポートのリンクアップの際に通知を送信します。

「Port Link Down」：ポートのリンクダウンの際に通知を送信します。

「Coldstart」：コールドスタートした際に通知を送信します。

「Warmstart」：ウォームスタートした際に通知を送信します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



2-5-4 SNMP View Table Settings (SNMP ビューテーブル設定)

「Management」→「SNMP」→「SNMP View Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SNMP View Settings

「View Name」：ビュー名を入力します。

「Subtree OID」：ビューのOID サブツリーを入力します。

「View Type」：ビュータイプを選択します。

- 選択肢：「Included」「Excluded」

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

SNMP View Table Settings

SNMP View Settings

View Name *

Subtree OID *

View Type

* Mandatory Field

Add

Total Entries: 8

View Name	Subtree OID	View Type	
restricted	1.3.6.1.2.1.1	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.11	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.10.2.1	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.11.2.1	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.15.1.1	included	Delete
Community/View	1	included	Delete
Community/View	1.3.6.1.6.3	excluded	Delete
Community/View	1.3.6.1.6.3.1	included	Delete

2-5-5 SNMP Community Table Settings (SNMP コミュニティテーブル設定)

「Management」→「SNMP」→「SNMP Community Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SNMP Community Settings

「Community Name」：コミュニティ名を入力します。

「View Name」：ビュー名を入力します。

「Access Right」：レベルの権限を指定します。

- 選択肢：「Read Only」「Read Write」

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

SNMP Community Table Settings

SNMP Community Settings

Community Name

View Name

Access Right

Add

Total Entries: 2

Community Name	View Name	Access Right	
public	Community/View	ro	Clear
private	Community/View	rw	Clear

2-5-6 SNMP Group Table Settings (SNMP グループテーブル設定)

「Management」→「SNMP」→「SNMP Group Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SNMP Group Settings

「Group Name」:SNMPグループ名を入力します。

「SNMP Version」:SNMPバージョンを選択します。

- 選択肢: 「SNMP v1」 「SNMP v2c」 「SNMP v3」

「Security Level」: セキュリティレベルを選択します。※「SNMP v3」選択時

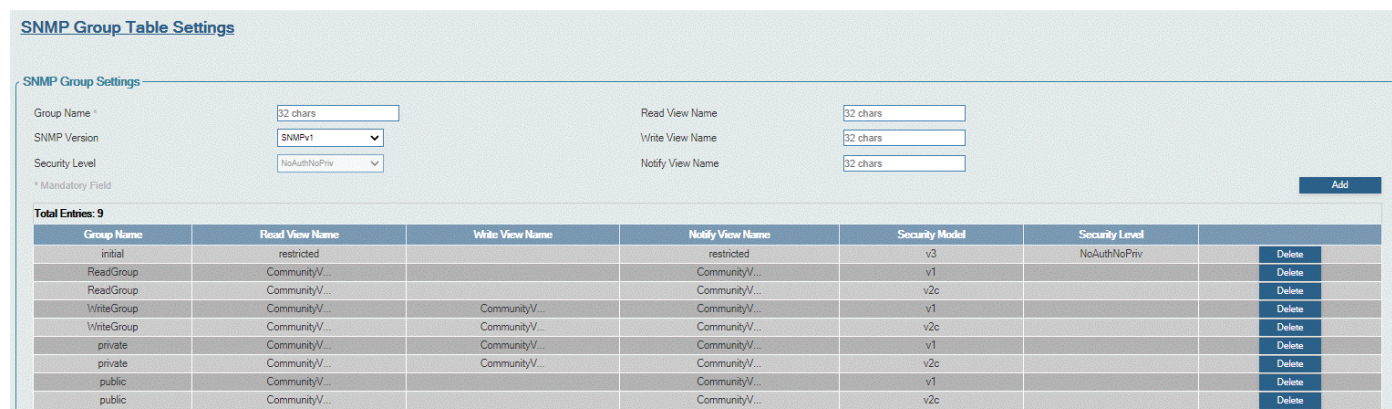
- 選択肢: 「NoAuthNoPriv」 「AuthNoPriv」 「AuthPriv」

「Read View Name」:読み取り権限を与えるユーザーのSNMP グループ名を入力します。

「Write View Name」:書き込み権限を与えるSNMP グループ名を入力します。

「Notify View Name」:トラップメッセージを送信するSNMPグループ名を入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。



SNMP Group Table Settings

SNMP Group Settings

Group Name: Read View Name:

SNMP Version: Write View Name:

Security Level: Notify View Name:

* Mandatory Field Add

Total Entries: 9

Group Name	Read View Name	Write View Name	Notify View Name	Security Model	Security Level	
initial	restricted		restricted	v3	NoAuthNoPriv	Delete
ReadGroup	CommunityV...		CommunityV...	v1		Delete
ReadGroup	CommunityV...		CommunityV...	v2c		Delete
WriteGroup	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v1		Delete
WriteGroup	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v2c		Delete
private	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v1		Delete
private	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v2c		Delete
public	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v1		Delete
public	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v2c		Delete

2-5-7 SNMP Engine ID Local Settings (SNMP エンジン ID ローカル設定)

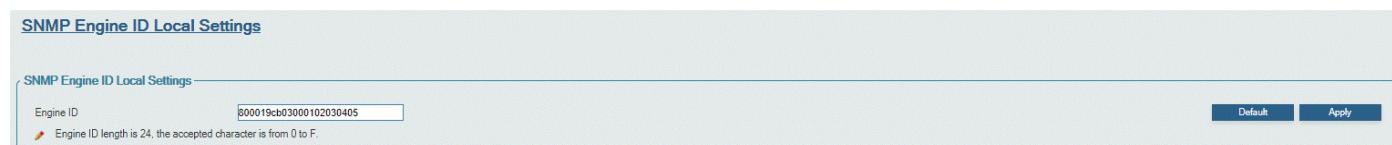
「Management」→「SNMP」→「SNMP Engine ID Local Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Engine ID」: エンジンIDを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Default」をクリックすると設定が初期値に戻ります。



SNMP Engine ID Local Settings

SNMP Engine ID Local Settings

Engine ID: Default Apply

Engine ID length is 24, the accepted character is from 0 to F.

2-5-8 SNMP User Table Settings (SNMP ユーザーテーブル設定)

「Management」→「SNMP」→「NMP User Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SNMP User Settings

「User Name」:ユーザー名を入力します。

「Group Name」:グループ名を入力します。

「SNMP Version」:SNMPバージョンを選択します。

- 選択肢:「v1」「v2c」「v3」

「Auth-Protocol by Password」: 認証プロトコルを選択します。※「v3」選択時

- 選択肢:「MD5」「SHA」

「Password」:パスワードを入力します。

「Priv-Protocol by Password」: プライバシープロトコルを選択します。※「v3」選択時

- 選択肢:「None」「DES56」

「Password」:パスワードを入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

SNMP User Table Settings

SNMP User Settings

User Name *

32 chars

Group Name *

32 chars

SNMP Version

v1

Auth-Protocol by Password

MD5

Password (8-32 chars)

Priv-Protocol by Password

None

Password (8-32 chars)

* Mandatory Field

Add

Total Entries: 1

User Name	Group Name	Security Model	Authentication Protocol	Privacy Protocol	Engine ID	
initial	initial	V3	None	None	800019cb03	Delete

2-5-9 SNMP Host Table Settings (SNMP ホストテーブル設定)

「Management」→「SNMP」→「NMP Host Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SNMP Host Settings

「Host IPv4 Address」:SNMP管理ホストのIPv4アドレスを入力します。

「SNMP Version」:管理ホストに使用するSNMPバージョンを入力します。

- 選択肢: 「SNMP v1」 「SNMP v2c」 「SNMP v3」

「Security Level」: 「Security Level」: セキュリティレベルを選択します。※「SNMP v3」選択時

- 選択肢: 「NoAuthNoPriv」 「AuthNoPriv」 「AuthPriv」

「UDP Port (0-65535)」: UDPポートを入力します。

「Community String/SMNPv3 User Name」: 管理ホストのコミュニティストリング、またはSNMPv3ユーザー名を入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

SNMP Host Table Settings

SNMP Host Settings

Host IPv4 Address

SNMP Version

SNMPv1

Security Level

NoAuthNoPriv

UDP Port (0-65535)

162

Community String / SNMPv3 User Name

32 chars

Add

Total Entries: 0

Host IP Address	SNMP Version	UDP Port	Community String/ SNMPv3 User Name
-----------------	--------------	----------	------------------------------------

2-5-10 RMON Global Settings (RMON 設定)

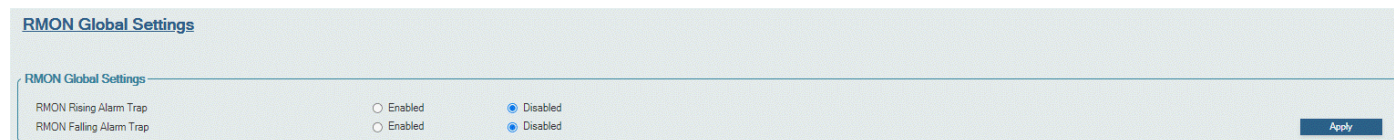
「Management」→「RMON」→「RMON Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「RMON Rising Alarm Trap」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「RMON Failing Alarm Trap」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'RMON Global Settings' page. It has a title bar 'RMON Global Settings' and a main content area with two rows of settings. The first row is 'RMON Rising Alarm Trap' with radio buttons for 'Enabled' and 'Disabled', where 'Disabled' is selected. The second row is 'RMON Failing Alarm Trap' with radio buttons for 'Enabled' and 'Disabled', where 'Disabled' is selected. An 'Apply' button is located at the bottom right.

2-5-11 RMON Statistics Settings (RMON 統計情報設定)

「Management」→「RMON」→「RMON Statistics」の順にクリックします。

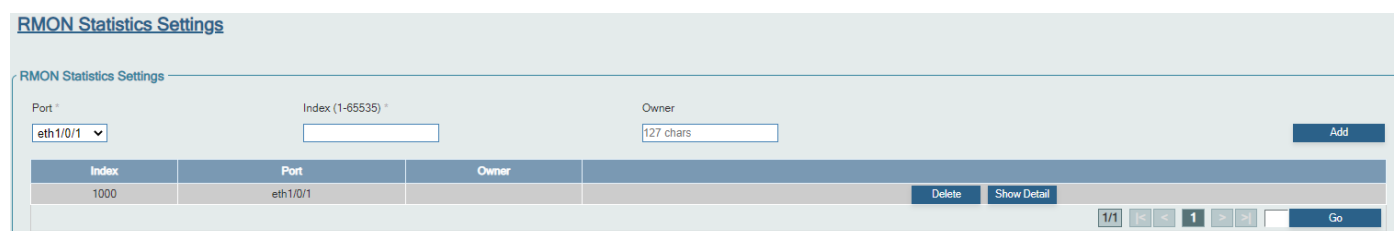
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」: RMON統計情報を収集するポートを選択します。

「Index」: 番号を入力します。

「Owner」: オーナー名を入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。



The screenshot shows the 'RMON Statistics Settings' page. It has a title bar 'RMON Statistics Settings' and a main content area. At the top, there are three input fields: 'Port' (a dropdown menu showing 'eth1/0/1'), 'Index (1-65535)' (an empty text box), and 'Owner' (a text box containing '127 chars'). An 'Add' button is to the right of the 'Owner' field. Below these fields is a table with columns: Index, Port, Owner, and an empty column. The first row of the table has the values: 1000, eth1/0/1, and 127 chars. To the right of the table are 'Delete' and 'Show Detail' buttons. At the bottom right, there is a pagination control showing '1/1' and a 'Go' button.

2-5-12 RMON History Settings (RMON 履歴設定)

「Management」→「RMON」→「RMON History」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」: RMON履歴を設定するポートを選択します。

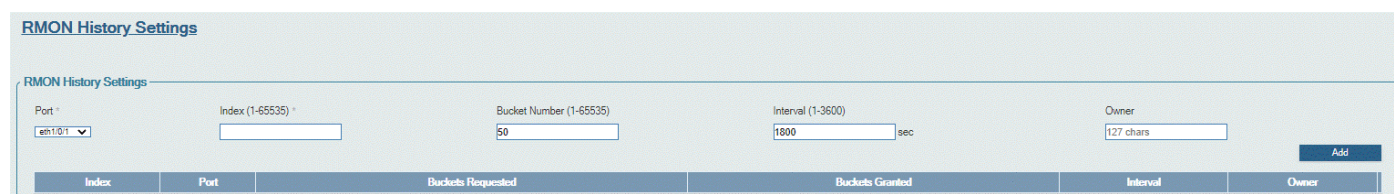
「Index」: 番号を入力します。

「Bucket Number(1-65535)」: 履歴保持数を入力します。

「Interval (1-3600)」: 履歴保存間隔を入力します。

「Owner」: オーナー名を入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。



The screenshot shows the 'RMON History Settings' page. It has a title bar 'RMON History Settings' and a main content area. At the top, there are five input fields: 'Port' (a dropdown menu showing 'eth1/0/1'), 'Index (1-65535)' (an empty text box), 'Bucket Number (1-65535)' (a text box containing '50'), 'Interval (1-3600)' (a text box containing '1800' with 'sec' next to it), and 'Owner' (a text box containing '127 chars'). An 'Add' button is to the right of the 'Owner' field. Below these fields is a table with columns: Index, Port, Buckets Requested, Buckets Granted, Interval, and Owner. The first row of the table has the values: 1000, eth1/0/1, 50, 1800, and 127 chars.

2-5-13 RMON Alarm Settings (RMON アラーム設定)

「Management」→「RMON」→「RMON Alarm」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Index (1-65535)」：番号を入力します。

「Variable」：MIB変数の値を入力します。

「Rising Threshold (0-2147483647)」：上昇しきい値を設定します。

「Rising Event Number (1-65535)」：上昇しきい値を超えた際のイベント番号を入力します。

「Owner」：オーナー名を入力します。

「Interval」：サンプリング間隔を入力します。

「Type」：サンプリング種別を選択します。

- 選択肢：「Absolute」「Delta」

「Failing Threshold」：下降しきい値を設定します。

「Failing Event Number (1-65535)」：下降しきい値を超えた際のイベント番号を入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

RMON Alarm Settings

RMON Alarm Settings

Index (1-65535) *

Variable *

Rising Threshold (0-2147483647) *

Rising Event Number (1-65535)

Owner

Interval (1-2147483647) *

Type

Failing Threshold (0-2147483647) *

Failing Event Number (1-65535)

sec

Absolute

Add

Total Entries: 0

2-5-14 RMON Event Settings (RMON イベント設定)

「Management」→「RMON」→「RMON Event」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Index」:番号を入力します。

「Description」:説明を入力します。

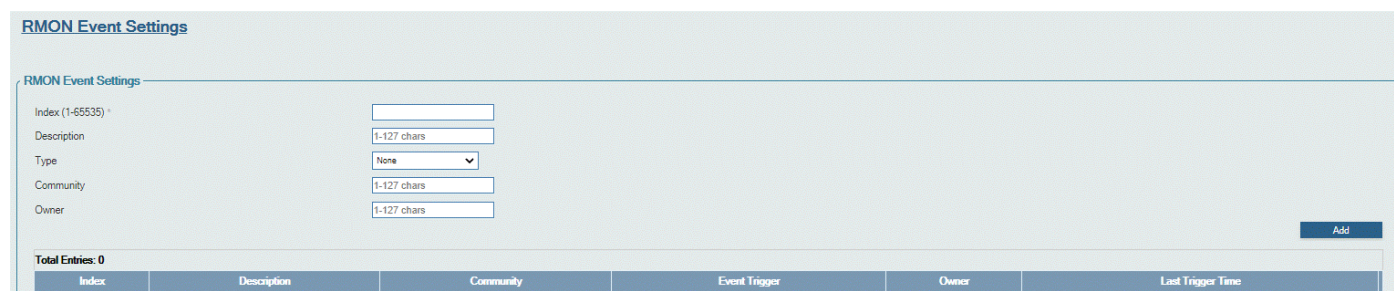
「Type」:タイプを選択します。

- 選択肢:「None」「Log」「Trap」「Log and Trap」

「Community」:コミュニティ名を入力します。

「Owner」:オーナー名を入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。



The screenshot shows the 'RMON Event Settings' form. It includes input fields for 'Index (1-65535)', 'Description (1-127 chars)', 'Type' (a dropdown menu with 'None' selected), 'Community (1-127 chars)', and 'Owner (1-127 chars)'. There is an 'Add' button on the right. Below the form is a table with the following columns: Index, Description, Community, Event Trigger, Owner, and Last Trigger Time. The table currently shows 'Total Entries: 0'.

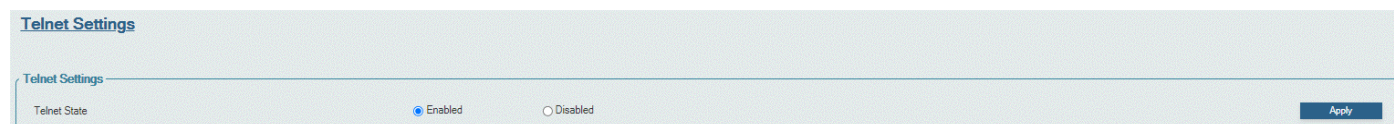
2-5-15 Telnet Settings (Telnet 設定)

「Management」→「Telnet」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Telnet State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'Telnet Settings' form. It has a 'Telnet State' section with two radio buttons: 'Enabled' (which is selected) and 'Disabled'. There is an 'Apply' button on the right.

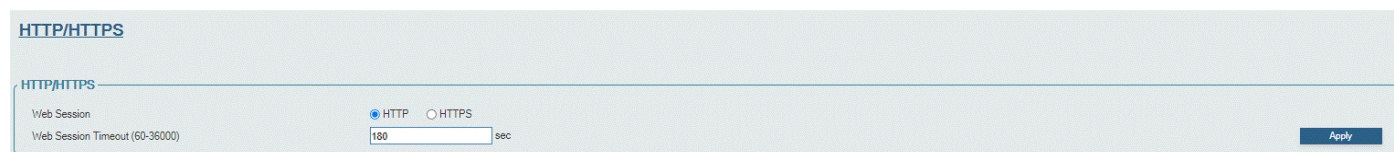
2-5-16 HTTP/HTTPS (HTTP/HTTPS 設定)

「Management」→「HTTP/HTTPS」の順にクリックします。

「Web Session」:「HTTP」または「HTTPS」を選択します。

「Web Session Timeout (60-36000)」: ウェブセッションのタイムアウト時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'HTTP/HTTPS' form. It has a 'Web Session' section with two radio buttons: 'HTTP' (which is selected) and 'HTTPS'. Below it is a 'Web Session Timeout (60-36000)' section with a text input field containing '180' and a 'sec' label. There is an 'Apply' button on the right.

2-6 L2Features（レイヤー2 機能の設定）

2-6-1 Unicast Static FDB（ユニキャストスタティック FDB）

「L2Features」→「FDB」→「Static FDB」→「Unicast Static FDB」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」:入力したMACアドレスの存在するポートを選択します。

「VID」:対象のMACアドレスが所属するVLANのVLAN IDを入力します。

「MAC Address」:パケットが静的に転送または破棄されるMACアドレスを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete All」:すべてのエントリを削除します。

※「Delete」:特定のエントリを削除します。

Unicast Static FDB

Unicast Static FDB

Port: VID(1-4094): MAC Address:

Total Entries: 1

VID	MAC Address	Port	
1	00-01-02-03-04-05	CPU	<input type="button" value="Delete"/>

1/1

2-6-2 Multicast Static FDB（マルチキャストスタティック FDB）

「L2Features」→「FDB」→「Static FDB」→「Multicast Static FDB」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」: 本設定を適用するポート範囲を選択します。

「VID」: 対象のMACアドレスが所属するVLANのVLAN IDを入力します。

「MAC Address」:マルチキャストパケットのスタティック送信先MACアドレスを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete All」:すべてのエントリを削除します。

※「Delete」:特定のエントリを削除します。

Multicast Static FDB

Multicast Static FDB

From Port: To Port: VID(1-4094): MAC Address:

Total Entries: 0

VID	MAC Address	Egress Ports	
-----	-------------	--------------	--

2-6-3 MAC Address Table Settings (MAC アドレステーブル設定)

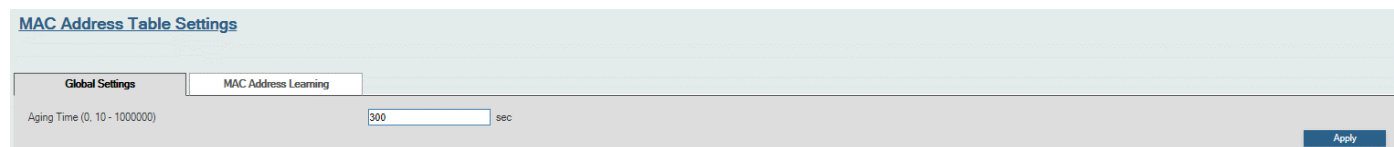
「L2Features」→「FDB」→「MAC Address Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Global Settings

「Aging Time (0,10-1000000)」: MACアドレスの保持時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



MAC Address Table Settings

Global Settings | MAC Address Learning

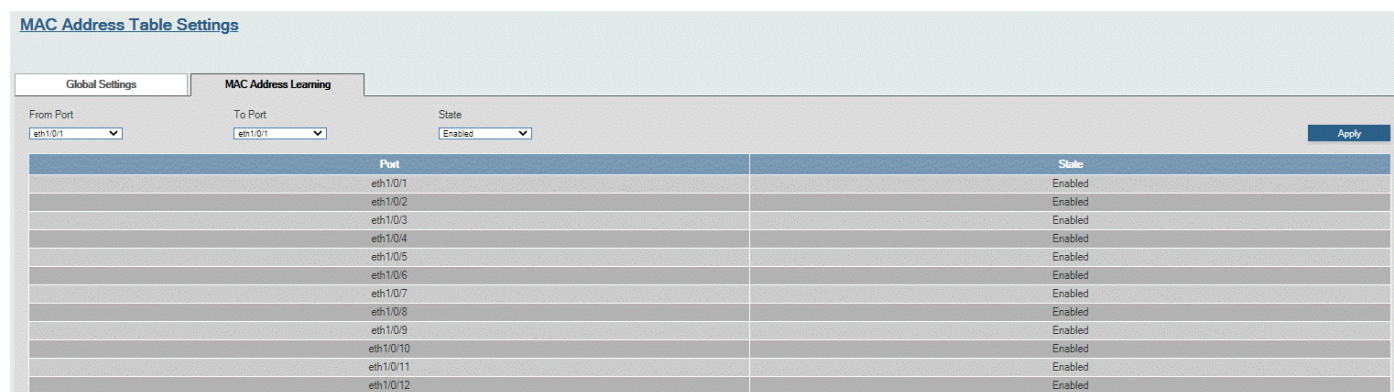
Aging Time (0, 10 - 1000000) sec Apply

MAC Address Learning

「From Port/To Port」: 本設定を適用するポート範囲を選択します。

「State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



MAC Address Table Settings

Global Settings | MAC Address Learning

From Port: To Port: State: Apply

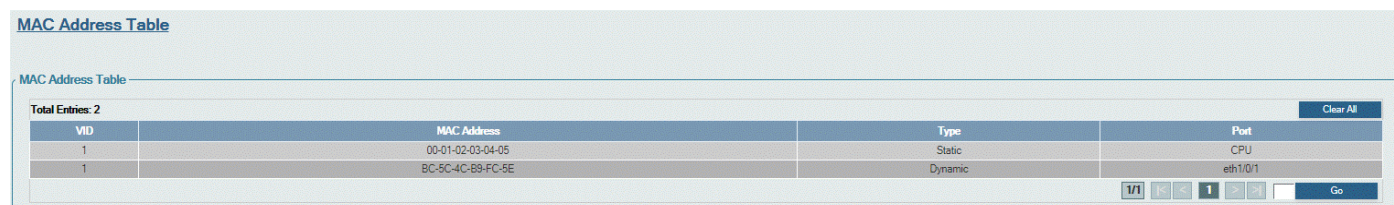
Port	State
eth1/0/1	Enabled
eth1/0/2	Enabled
eth1/0/3	Enabled
eth1/0/4	Enabled
eth1/0/5	Enabled
eth1/0/6	Enabled
eth1/0/7	Enabled
eth1/0/8	Enabled
eth1/0/9	Enabled
eth1/0/10	Enabled
eth1/0/11	Enabled
eth1/0/12	Enabled

2-6-4 MAC Address Table (MAC アドレステーブル)

「L2Features」→「FDB」→「MAC Address Table」の順にクリックします。

MACアドレステーブルが表示されます。

※「Clear All」: ダイナミックMACアドレスを再取得します。



MAC Address Table

Total Entries: 2 Clear All

VID	MAC Address	Type	Port
1	00-01-02-03-04-05	Static	CPU
1	BC-5C-4C-B9-FC-5E	Dynamic	eth1/0/1

1/1 Go

2-6-5 VLAN Configuration Wizard (VLAN 設定)

「L2Features」→「VLAN」→「VLAN Configuration Wizard」の順にクリックします。

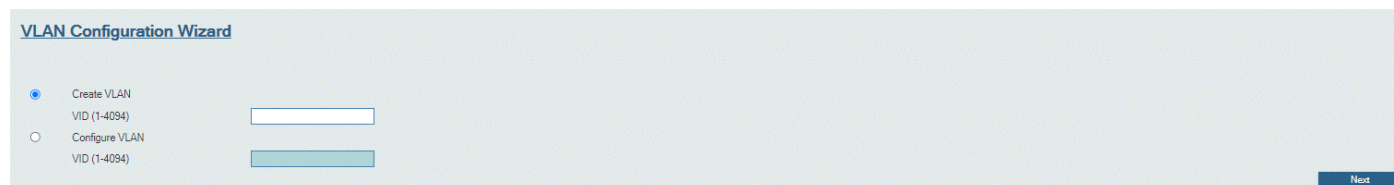
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Create VLAN」：VLAN作成時に選択します。

「Configure VLAN」：VLAN設定変更時に選択します。

「VID」：追加（変更）するVID（VLAN ID）を入力します。

※「NEXT」をクリックします。



The screenshot shows the 'VLAN Configuration Wizard' window. It has two radio buttons: 'Create VLAN' (selected) and 'Configure VLAN'. Below each button is a text field for 'VID (1-4094)'. The 'Next' button is in the bottom right corner.

「VLAN NAME」：追加（変更）するVIDのVLAN名を入力します。

「Tagged」：VLANタグを付与して送信する。

「Untagged」：VLANタグを除去して送信する。

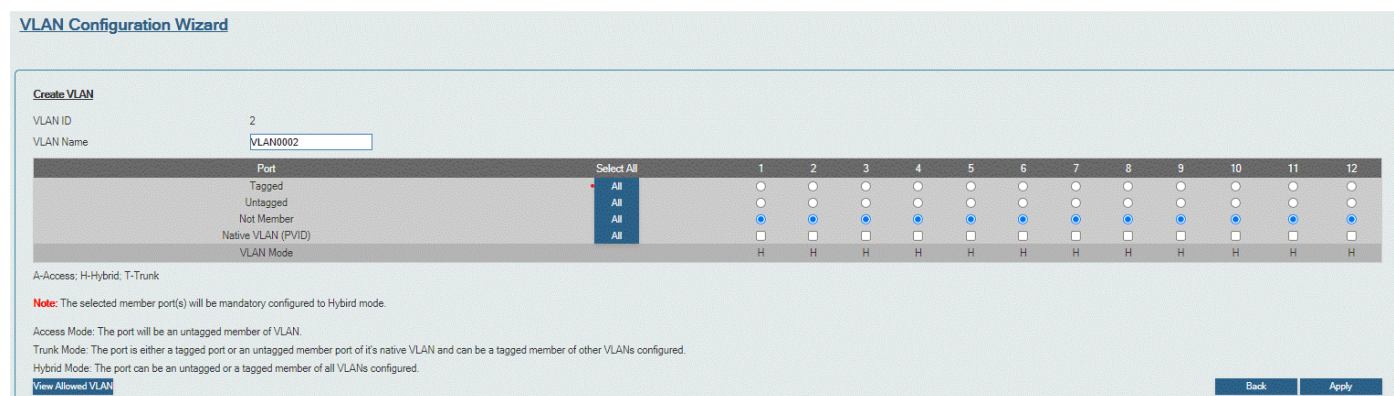
「Not Member」：VLANのメンバーに含めない。

「Native VLAN(PVID)」：ネイティブVLANに指定するポートを選択します。

「VLAN Mode」：VLANのモードを表示します。

※「All」をクリックするとすべてのポートを選択できます。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'VLAN Configuration Wizard' window, Step 2: 'Create VLAN'. It includes fields for 'VLAN ID' (2) and 'VLAN Name' (VLAN0002). Below these is a table with 12 columns representing ports (1-12) and 5 rows for configuration options: 'Port', 'Tagged', 'Untagged', 'Not Member', and 'Native VLAN (PVID)'. The 'VLAN Mode' row shows 'H' for all ports. A 'Select All' button is next to the 'Port' header. A legend at the bottom left defines 'A-Access, H-Hybrid, T-Trunk'. A note states: 'The selected member port(s) will be mandatory configured to Hybrid mode.' Below the table, there are three explanatory paragraphs for 'Access Mode', 'Trunk Mode', and 'Hybrid Mode'. At the bottom right are 'Back' and 'Apply' buttons.

Port	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Tagged	All											
Untagged	All											
Not Member	All											
Native VLAN (PVID)	All											
VLAN Mode	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H

A-Access, H-Hybrid, T-Trunk

Note: The selected member port(s) will be mandatory configured to Hybrid mode.

Access Mode: The port will be an untagged member of VLAN.

Trunk Mode: The port is either a tagged port or an untagged member port of its native VLAN and can be a tagged member of other VLANs configured.

Hybrid Mode: The port can be an untagged or a tagged member of all VLANs configured.

2-6-6 802.1Q VLAN (VLAN 管理)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「802.1Q VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

802.1Q VLAN

「VID List」:追加または削除するVID番号を入力し、「Apply」または「Delete」をクリックします。

VLAN List

※「Edit」をクリックするとVLAN Nameが変更できます。

※「Delete」をクリックするとVLANを削除します。

802.1Q VLAN

802.1Q VLAN

VID List (2-4094)

Apply

Delete

VLAN List

Total Entries: 2

VID	VLAN Name	Tagged Member Ports	Untagged Member Ports	VLAN Type	
1	VLAN0001		eth1/0/1-12		<div>Edit</div> <div>Delete</div>
2	VLAN0002	eth1/0/8			<div>Edit</div> <div>Delete</div>

1/1

1

Go

2-6-7 Management VLAN Settings (マネジメント VLAN 設定)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Management VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「VID」:マネジメントVLANのID番号を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Management VLAN Settings

Management VLAN Settings

Management VLAN State

☒ Enabled
☐ Disabled

VID(1-4094)

Apply

Note:

When 802.1Q Management VLAN is enabled, the 802.1Q VLAN should be enabled first.

2-6-8 GVRP Global (GVRP グローバル)

「L2Features」→「VLAN」→「GVRP」→「GVRP Global」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

GVRP Global

「Global GVRP State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Dynamic VLAN Creation」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

GVRP Time Settings

「Join Time (1-20)」: ジョインタイムを入力します。

「Leave Time (60-300)」: リーブタイムを入力します。

「Leave All Time (1000-5000)」: リーブオールタイムを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

GVRP Global

GVRP Global

Global GVRP State

☐Enabled ☒Disabled

Dynamic VLAN Creation

☒Enabled ☐Disabled

Apply

GVRP Time Settings

Join Time(1-20)

centiseconds

Leave Time(60-300)

centiseconds

Leave All Time(1000-5000)

centiseconds

Note:

The Leave Time should be no less than 3 * Join Time.

Leave All Time should be greater than Leave Time.

Apply

2-6-9 GVRP Port (GVRP ポート)

「L2Features」→「VLAN」→「GVRP」→「GVRP Port」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:本設定を適用するポート範囲を選択します。

「GVRP Status」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

GVRP Port

From Port

To Port

GVRP Status

eth1/0/1

eth1/0/1

Disabled

Apply

Port	GVRP Status
eth1/0/1	Disabled
eth1/0/2	Disabled
eth1/0/3	Disabled
eth1/0/4	Disabled
eth1/0/5	Disabled
eth1/0/6	Disabled
eth1/0/7	Disabled
eth1/0/8	Disabled
eth1/0/9	Disabled
eth1/0/10	Disabled
eth1/0/11	Disabled
eth1/0/12	Disabled

2-6-10 GVRP Advertise VLAN (GVRP アドバタイズ VLAN)

「L2Features」→「VLAN」→「GVRP」→「GVRP Advertise VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:本設定を適用するポート範囲を選択します。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢:「All」「Add」「Remove」「Replace」

「Advertise VID List」:VIDリストを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

GVRP Advertise VLAN

From Port

To Port

Action

Advertise VID List

eth1/0/1

eth1/0/1

Add

1,3 or 2-5

Apply

Port	Advertise VLAN
eth1/0/1	
eth1/0/2	
eth1/0/3	
eth1/0/4	
eth1/0/5	
eth1/0/6	
eth1/0/7	
eth1/0/8	
eth1/0/9	
eth1/0/10	
eth1/0/11	
eth1/0/12	

2-6-11 GVRP Forbidden VLAN (GVRP フォービドゥン VLAN)

「L2Features」→「VLAN」→「GVRP」→「GVRP Forbidden VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:本設定を適用するポート範囲を選択します。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢:「All」「Add」「Remove」「Replace」

「Advertise VID List」:VIDリストを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

GVRP Forbidden VLAN

GVRP Forbidden VLAN

From Port

eth1/0/1

To Port

eth1/0/1

Action

Add

Forbidden VID List

2 or 3-5

Apply

Port	Forbidden VLAN
eth1/0/1	
eth1/0/2	
eth1/0/3	
eth1/0/4	
eth1/0/5	
eth1/0/6	
eth1/0/7	
eth1/0/8	
eth1/0/9	
eth1/0/10	
eth1/0/11	
eth1/0/12	

2-6-12 Asymmetric VLAN (アシメトリック VLAN)

「L2Features」→「VLAN」→「Asymmetric VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「GVRP Status」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Asymmetric VLAN

Asymmetric VLAN

Asymmetric VLAN State

☐ Enabled
 ☒ Disabled

Apply

2-6-13 VLAN Interface (VLAN インターフェイス)

「L2Features」→「VLAN」→「VLAN Interface」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

VLAN Interface Settings

「Show Detail」:VLANインターフェイス情報が表示されます。

「Edit」: VLANインターフェイス設定画面が表示されます。

VLAN Interface							
VLAN Interface Settings				Port Summary			
Port	VLAN Mode	Ingress Checking	Acceptable Frame Type		Show Detail	Edit	
eth1/0/1	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/2	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/3	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/4	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/5	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/6	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/7	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/8	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/9	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/10	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/11	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	
eth1/0/12	Hybrid	Enabled	Admit All		Show Detail	Edit	

「Show Detail」クリック時

2-6-13-1 VLAN Interface Information(VLAN インターフェイス情報)

VLAN Interface Information	
Port	eth1/0/1
VLAN Mode	Hybrid
Native VLAN	1
Hybrid Untagged VLAN	1
Hybrid Tagged VLAN	-
Dynamic Tagged VLAN	-
Ingress Checking	Enabled
Acceptable Frame Type	Admit All
<<Back	

「Edit」 クリック時

2-6-13-2 Configure VLAN Interface (VLAN インターフェイス設定)

「VLAN Mode」:VLANモードを選択します。

- 選択肢:「Access」「Hybrid」「Trunk」

「Acceptable Frame」:受信可能なフレームタイプを選択します。

- 選択肢:「Tagged Only」「Untagged Only」「Admit All」

「Ingress Checking」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Native VLAN」:ネイティブVLANに指定する場合はチェックを入れます。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢:「Add」「Remove」「Tagged」「Untagged」

「Add Mode」:「Untagged」または「Tagged」を選択します。※「Add」選択時

「Allowed VLAN Range」:転送を許可するVLANレンジを入力します。

「Clone」:他のポート設定を複製する場合はチェックを入れます。

「From Port/To Port」:設定を複製するポート範囲を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Configure VLAN Interface

Port
eth1/0/1
VLAN Mode
Hybrid
Acceptable Frame
Admit All
Ingress Checking
Enabled ☒ Disabled ☐
Native VLAN
☒ Native VLAN
VID (1-4094)
1
Action
Add
Add Mode
Untagged ☒ Tagged ☐
Allowed VLAN Range

Current Hybrid Untagged VLAN Range
1
Current Hybrid Tagged VLAN Range

☐ Clone
From Port
eth1/0/1
To Port
eth1/0/1

Back Apply

Port Summary

VLAN インターフェースステータスが表示されます。

VLAN Interface					
VLAN Interface Settings			Port Summary		
Port	VLAN Mode	Native VLAN	Untagged VLAN	Tagged VLAN	Dynamic Tagged VLAN
eth1/0/1	Hybrid	1	1		
eth1/0/2	Hybrid	1	1		
eth1/0/3	Hybrid	1	1		
eth1/0/4	Hybrid	1	1		
eth1/0/5	Hybrid	1	1		
eth1/0/6	Hybrid	1	1		
eth1/0/7	Hybrid	1	1		
eth1/0/8	Hybrid	1	1	2	
eth1/0/9	Hybrid	1	1		
eth1/0/10	Hybrid	1	1		
eth1/0/11	Hybrid	1	1		
eth1/0/12	Hybrid	1	1		

2-6-14 Auto Surveillance Properties（自動サーベイランスプロパティ）

「L2Features」→「VLAN」→「Auto Surveillance VLAN」→「Auto Surveillance Properties」の順にクリックします。

Global Settings

「Surveillance VLAN State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Surveillance VLAN ID」:サーベイランスVLAN IDを入力します。

「Surveillance VLAN Cos」:サーベイランスVLAN Cos値を入力します。

「Aging Time」:エイジングタイムを入力します。

「ONVIF Discover Port」:オンビフディスカバーポートの番号を入力します。

「Log State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

ONVIF Global Status

検出されたデバイス・IPカメラ・NVRの数量が表示されます。

Port Settings

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Auto Surveillance Properties

Global Settings

Surveillance VLAN State

☐ Enabled
 ☒ Disabled

Surveillance VLAN ID (2-4094)

Surveillance VLAN CoS

5

Aging Time (1-65535)

720 min

ONVIF Discover Port (554, 1025-65535)

554

Log State

☒ Enabled
 ☐ Disabled

Note: Surveillance VLAN ID and Voice VLAN ID cannot be the same.

Apply

ONVIF Global Status

Surveillance Device Detected (OUI)	0
IP-Camera Detected (ONVIF)	0
NVR Detected (ONVIF)	0

Port Settings

From Port

eth1/0/1

To Port

eth1/0/1

State

Disabled

Apply

Port	State
eth1/0/1	Disabled
eth1/0/2	Disabled
eth1/0/3	Disabled
eth1/0/4	Disabled
eth1/0/5	Disabled
eth1/0/6	Disabled
eth1/0/7	Disabled
eth1/0/8	Disabled
eth1/0/9	Disabled
eth1/0/10	Disabled
eth1/0/11	Disabled
eth1/0/12	Disabled

2-6-15 MAC Settings and Surveillance Device (MAC 設定とサーベイランスデバイス)

「L2Features」→「VLAN」→「Auto Surveillance VLAN」→「MAC Settings and Surveillance Device」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

User-defined MAC Setting

「Component Type」:コンポーネントのタイプを選択します。

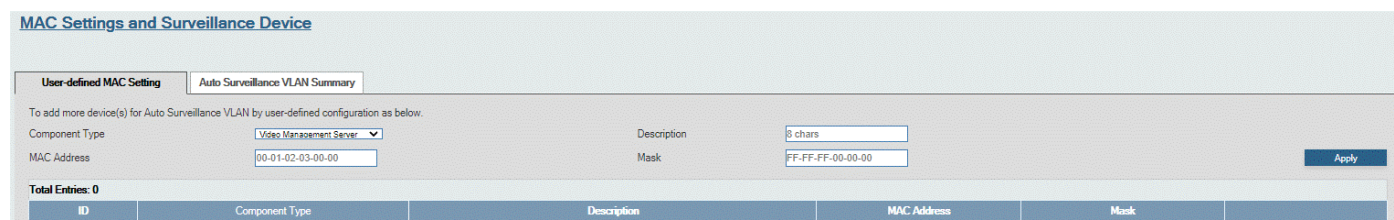
- 選択肢:「VideoManagement Server」「VMS Client/Remote Viewer」「Video Encoder」「Network Storage」「OtherIP Surveillance Device」

「MAC Address」:MACアドレスを入力します。

「Description」:説明を入力します。

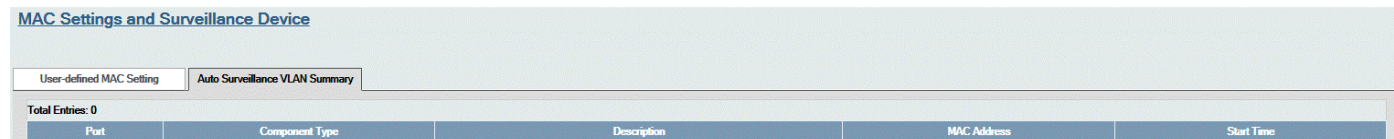
「Mask」:マスクを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



Auto Surveillance VLAN Summary

オートサーベイランスVLANの概要が表示されます。



2-6-16 ONVIF IP-Camera Information (オンビフ IP カメラ情報)

「L2Features」→「VLAN」→「Auto Surveillance VLAN」→「ONVIF IP-Camera Information」の順にクリックします。

通信中のオンビフ対応IPカメラの情報を表示されます。



2-6-17 ONVIF NVR Information (オンビフ NVR 情報)

「L2Features」→「VLAN」→「Auto Surveillance VLAN」→「ONVIF NVR Information」の順にクリックします。
通信中のオンビフ対応NVRの情報を表示されます。

ONVIF NVR Information

ONVIF NVR Information

Total Entries Discovered: 0

Port	IP Address	MAC Address	IP-Camera Number	Group	Description
Note: System probes IP-Camera every 30s.					

2-6-18 Voice VLAN Global (音声 VLAN グローバル)

「L2Features」→「VLAN」→「Voice VLAN」→「Voice VLAN Global」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Voice VLAN State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Voice VLAN ID」:音声VLAN IDを入力します。

「Voice VLAN Cos」:音声VLAN Cos値を入力します。

「Aging Time」:エイジングタイムを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Voice VLAN Global

Voice VLAN Global

Voice VLAN State: ☐ Enabled ☒ Disabled

Voice VLAN ID (2-4094):

Voice VLAN CoS:

Aging Time (1-65535): min

Note: Surveillance VLAN ID and Voice VLAN ID can not be the same.

[Apply](#)

2-6-19 Voice VLAN Port（音声 VLAN ポート）

「L2Features」→「VLAN」→「Voice VLAN」→「Voice VLAN Port」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Mode」:モードを選択します。

- 選択肢:「Auto Untagged」「Auto Tagged」「Manual」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Voice VLAN Port

Voice VLAN Port

From Port: To Port: State: Mode: Apply

Port	State	Mode
eth1/0/1	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/2	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/3	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/4	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/5	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/6	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/7	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/8	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/9	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/10	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/11	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/12	Disabled	Auto Untagged

2-6-20 Voice VLAN OUI（音声 VLAN OUI）

「L2Features」→「VLAN」→「Voice VLAN」→「Voice VLAN OUI」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「OUI Address」:OUIアドレスを入力します。

「Mask」:マスクを入力します。

「Description」:説明を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Voice VLAN OUI

Voice VLAN OUI

OUI Address: Mask: Description: Apply

Total Entries: 8

OUI Address	Mask	Description	
00-E0-8B-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	3COM	Delete
00-03-6B-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Cisco	Delete
00-E0-75-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Veritel	Delete
00-00-1E-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Pingtel	Delete
00-01-E3-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Siemens	Delete
00-60-89-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	NEC/Philips	Delete
00-0F-E2-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Huawei3COM	Delete
00-09-6E-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Avaya	Delete

2-6-21 Voice VLAN Device（音声 VLAN デバイス）

「L2Features」→「VLAN」→「Voice VLAN」→「Voice VLAN Device」の順にクリックします。
通信中の音声VLANデバイス情報を表示します。

Voice VLAN Device

Voice VLAN Device Table

Total Entries: 0

Port	Voice Device Address	Start Time
------	----------------------	------------

2-6-22 Spanning Tree Global Settings（スパニングツリーグローバル設定）

「L2Features」→「Spanning Tree」→「STP Global Settings」の順にクリックします。
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Spanning Tree State

「Spanning Tree State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Spanning Tree Mode

「Spanning Tree Mode」:スパニングツリーのモードを選択します。

- 選択肢:「MSTP」「RSTP」「STP」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

STP Traps

「STP New Root Trap」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「STP Topology Change Trap」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

STP Priority

「Priority (0-61440)」:プライオリティを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

BPDU Forward

「BPDU Forward」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Spanning Tree Global Settings		
Spanning Tree State		
Spanning Tree State	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled	Apply
Spanning Tree Mode		
Spanning Tree Mode	<input type="radio"/> MSTP <input checked="" type="radio"/> RSTP <input type="radio"/> STP	Apply
STP Traps		
STP New Root Trap	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled	Apply
STP Topology Change Trap	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled	
STP Priority		
Priority (0-61440)	<input type="text" value="32768"/>	Apply
BPDU Forward		
BPDU Forward	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled	Apply

2-6-23 STP Port Settings (STP ポート設定)

「L2Features」→「Spanning Tree」→「STP Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Port Fast」:ポートファストを選択します。

- 選択肢:「Network」「Disabled」「Edge」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

STP Port Settings

STP Port Settings

From Port: To Port: Port Fast:

Port	Cost	Port Fast	Priority	State
eth1/0/1	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/2	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/3	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/4	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/5	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/6	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/7	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/8	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/9	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/10	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/11	200000000	Edge	128	Link down
eth1/0/12	200000000	Edge	128	Link down

2-6-24 MST Configuration Identification (MST インスタンス設定)

「L2Features」→「Spanning Tree」→「MST Configuration Identification」の順にクリックします。

MST Configuration Identification

「Configuration Name」:設定名を入力します。

「Revision Level (0-65535)」:MSTリージョンの値を入力します。

「Digest」:ダイジェストが表示されます。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Instance ID Settings

「Instance ID (1-7)」:インスタンスIDを入力します。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢:「Add VID」「Remove VID」

「VID List」:VIDリストを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

MST Configuration Identification

MST Configuration Identification

Configuration Name:
Revision Level (0-65535):
Digest: AC36177F50283CD4B83821D8A826DE62

Instance ID Settings

Instance ID (1-7):
Action:
VID List:

Total Entries: 1

Instance ID	VID List
CIST	1-4094

1/1

2-6-25 STP Instance (STP インスタンス)

「L2Features」→「Spanning Tree」→「STP Instance」の順にクリックします。

STPインスタンスが表示されます。

STP Instance

Total Entries: 1

Instance	Instance State	Instance Priority	
CIST	Disabled	32768(32768 sysid 0)	Edit

1/1 [1](#) [Go](#)

Instance CIST

	CIST Global Info[Mode: RSTP]
Bridge Address	00-01-02-03-04-05
Designated Root Address / Priority	00-01-02-03-04-05 / 32768
Regional Root Bridge Address / Priority	00-01-02-03-04-05 / 32768
Designated Bridge Address / Priority	00-01-02-03-04-05 / 32768

2-6-26 MSTP Port Information (MSTP ポート情報)

「L2Features」→「Spanning Tree」→「MSTP Port Information」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」: 情報を表示するポートを選択します

※「Find」をクリックするとMSTPポート情報が表示されます。

MSTP Port Information

MSTP Port Information

Port: [Find](#)

eth1/0/1 Settings

Instance ID	Cost	Priority	Status	Role
-------------	------	----------	--------	------

2-6-27 ERPS (ERPS 設定)

「L2Features」→「ERPS (G.8032)」→「ERPS」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

ERPS Status

Ethernet Ring G.8032

「Ring Name」: リング名を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

ERPS

ERPS Status [ERPS Brief](#)

Ethernet Ring G.8032

Ring Name: [Apply](#)

Total Entries: 0

Ethernet Ring	Admin Port0	Admin Port1	Instance
---------------	-------------	-------------	----------

Apply クリック後

「Edit Ring」:Edit Ethernet Ring が表示されます。

「Show Detail」: ERPS Status が表示されます。

ERPS

ERPS Status ERPS Brief

Ethernet Ring G.8032

Ring Name Apply

Total Entries: 1

Ethernet Ring	Admin Port0	Admin Port1	Instance	
2	-	-	0	Edit Ring Show Detail Delete

1/1 1 Go

Edit Ring クリック後

2-6-27-1 Edit Ethernet Ring（イーサネットリング編集）

Ethernet Ring Settings

「Ethernet Ring Name」:イーサネットリング名が表示されます。

「Instance ID」:チェックBOXにチェックを入れ、インスタンス ID を入力します。

「Port0」: チェックBOXにチェックを入れ、ポート番号を選択します。

「Port1」: チェックBOXにチェックを入れ、ポート番号を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Edit Ethernet Ring

Ethernet Ring Settings

Ethernet Ring Name 2

Instance ID (1-32) ☐ None ☒ Specify

Port0 ☐ None ☒ Specify

Port1 ☐ None ☒ Specify

Back Apply

Show Detail クリック後

2-6-27-2 ERPS Status（ERPS ステータス）

ERPS Status Information

ERPS ステータス情報が表示されます。

ERPS Status

ERPS Status Information

Ethernet Ring	2
Admin Port0	-
Admin Port1	-
Instance ID	0
Instance Status	Deactivated
R-APS Channel	invalid r-aps vlan
Protected VLANs	
Port0	-, Forwarding
Port1	-, Forwarding
Profile	
Description	
Guard Timer	500 ms
Hold-Off Timer	0 ms
WTR Timer	5 min
Revertive	Enabled
MEL	1
RPL Role	None
RPL Port	-

Back

ERPS Brief

ERPS情報が表示されます。

ERPS Status

ERPS Brief

Total Entries: 1

Ethernet Ring	Instance ID	Status	Port State	
2	0	Deactivated	-	Edit Instance
			-	

1/1

<<

<

1

>

>>

Go

Edit instance クリック後

2-6-27-3 Edit Ethernet Instance（イーサネットインスタンス編集）

Ethernet Instance Settings

「Ethernet Ring Name」：リング名が表示されます。

「Instance ID」：インスタンス ID が表示されます。

「Description」：チェック B O X にチェックを入れ、説明を入力します。

「R-APS Channel VLAN(1-4094)」：チェック B O X にチェックを入れ、VLAN ID を入力します。

「Inclusion VLAN List」：チェック B O X にチェックを入れ、許可 VLAN リストを入力します。

「MEL(0-7)」：チェック B O X にチェックを入れ、MEL 値を入力します。

「Profile Name」：チェック B O X にチェックを入れ、プロファイル名を入力します。

「RPL Port」：RPL Role のチェック B O X にチェックを入れ、RPL ポートを選択します。

「RPL Role」：RPL Rol を選択します。

- 選択肢：「Neighbor」「Owner」

「Activate」：チェック B O X にチェックを入れ、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

[Edit Ethernet Instance](#)

Ethernet Instance Settings

Ethernet Ring Name	2
Instance ID	2
Description	<input type="text" value="64 chars"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
R-APS Channel VLAN (1-4094)	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
Inclusion VLAN List	<input type="text" value="1,3-5"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
MEL (0-7)	<input type="text" value="1"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
Profile Name	<input type="text" value="32 chars"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
RPL Port	<input type="text" value="Port0"/>
RPL Role	<input type="text" value="Owner"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
Activate	<input type="text" value="Disabled"/> <input type="checkbox"/>

[Back](#)
[Apply](#)

2-6-28 ERPS Profile (ERPS プロファイル)

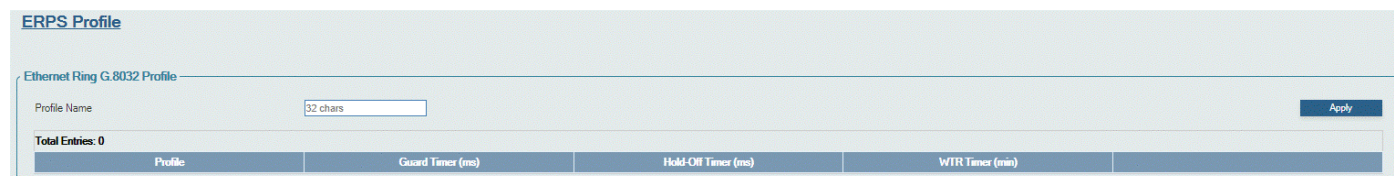
「L2Features」→「ERPS (G.8032)」→「ERPS Profile」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

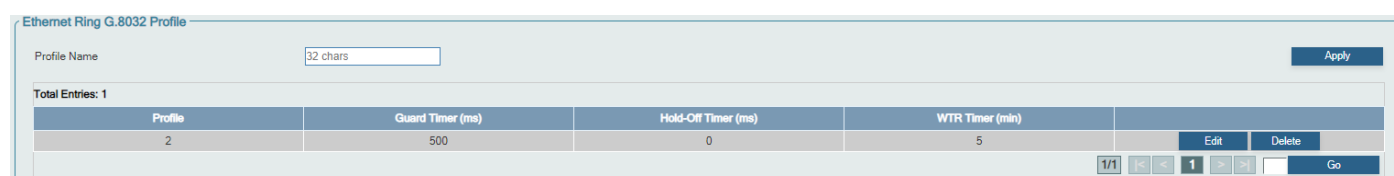
Ethernet Ring G.8032 Profile

「Profile Name」：プロファイル名を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



profilename 入力後



Edit クリック後

2-6-28-1 Edit Ethernet Profile (イーサネットプロファイル編集)

Ethernet Profile Settings

「Profile Name」：プロファイル名が表示されます。

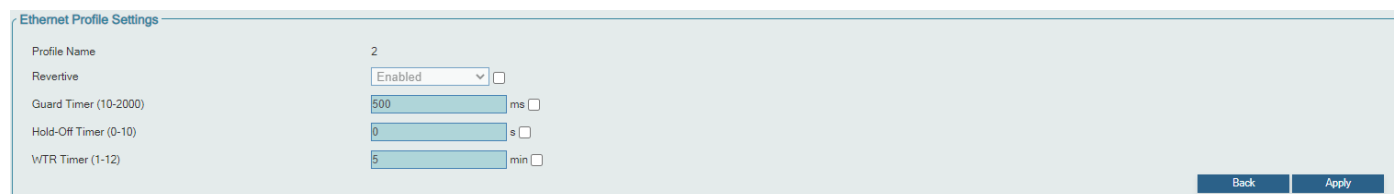
「Revertive」：チェックボックスにチェックを入れ、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Guard Timer(10-2000)」：チェックボックスにチェックを入れ、ガードタイマーを入力します。

「Hold-Off Timer(0-10)」：チェックボックスにチェックを入れ、ホールドオフタイマーを入力します。

「WTR Timer (1-12)」：チェックボックスにチェックを入れ、WTR タイマーを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



2-6-29 Loopback Detection（ループバック検知機能）

「L2Features」→「Loopback Detection」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Loopback Detection Global Settings

「Loopback Detection」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Time interval（1-32767）」：ループ検知間隔を入力します。

「Recover Time（0,60-1000000）」：ループバックが検知された場合にリカバリする時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Loopback Detection Port Settings

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Loopback Detection

Loopback Detection Global Settings

Loopback Detection
☐ Enabled
☒ Disabled

Time Interval (1-32767)
 sec

Recover Time (0, 60-1000000)
 sec

Apply

Loopback Detection Port Settings

From Port
To Port
State

Apply

Port	Loopback Detection State	Result
eth1/0/1	Disabled	Normal
eth1/0/2	Disabled	Normal
eth1/0/3	Disabled	Normal
eth1/0/4	Disabled	Normal
eth1/0/5	Disabled	Normal
eth1/0/6	Disabled	Normal
eth1/0/7	Disabled	Normal
eth1/0/8	Disabled	Normal
eth1/0/9	Disabled	Normal
eth1/0/10	Disabled	Normal
eth1/0/11	Disabled	Normal
eth1/0/12	Disabled	Normal

2-6-30 Link Aggregation（リンクアグリゲーション）

「L2Features」→「Link Aggregation」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Channel Group Information

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」:Enabled」（有効）または「Disabled」（無効）を選択します。

「Group ID」:グループIDを入力します。

「Mode」：モードを選択します。

- 選択肢：「On」「Active」「Passive」

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

※「Delete Member Port」をクリックすると選択したポートをメンバーから削除します。

Link Aggregation

Channel Group Information

From Port: To Port: Group ID (1-6): Mode:

Note: Each Channel Group supports up to 8 member ports. Up to 6 Channel Groups.

Total Entries: 0

Channel Group	Protocol	Max Ports	Member Number	Member Ports
---------------	----------	-----------	---------------	--------------

[Add](#) [Delete Member Port](#)

Addクリック後

「Delete Channel」:チャンネルを削除します。

「Channel Detail」:Port Channelを表示します。

Link Aggregation

Channel Group Information

From Port: To Port: Group ID (1-6): Mode:

Note: Each Channel Group supports up to 8 member ports. Up to 6 Channel Groups.

Total Entries: 1

Channel Group	Protocol	Max Ports	Member Number	Member Ports
Port-channel 1	Static	8	1	eth1/0/1

[Delete Channel](#) [Channel Detail](#)

Channel Detailクリック後

Port Channel Information

Port Channel: 1
Protocol: Static

Port Channel Detail Information

Port	Working Mode	LACP State	Port Priority	Port Number
eth1/0/1	None	down	None	None

Port Channel Neighbor Information

Port	Partner System ID	Partner PortNo	Partner Port Priority
eth1/0/1	None	None	None

Note:
LACP State:
bndl: Port is attached to an aggregator and bundled with other ports.
indep: Port is in an independent state(not bundled but able to switch data traffic).
hot-stdy: Port is in a hot-standby state.
down: Port is down.

[<<Back](#)

2-6-32 IGMP Snooping Groups Settings (IGMP Snooping グループ設定)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「IGMP Snooping」 → 「IGMP Snooping Groups Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

IGMP Snooping Static Groups Settings

「VID」：登録または削除するグループのVLAN IDを入力します。

「Group Address」：登録または削除するグループのIPアドレスを入力します。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定を削除します。

IGMP Snooping Groups Settings

IGMP Snooping Static Groups Settings

VID (1-4094)

Group Address

From Port

To Port

Apply

Delete

Total Entries: 0

VID	Group Address	Ports
-----	---------------	-------

IGMP Snooping Groups Table

Total Entries: 0

VID	Group Address	Source Address	FM	Exp(sec)	Ports
-----	---------------	----------------	----	----------	-------

2-6-33 MLD Snooping Settings (MLD Snooping 設定)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「MLD Snooping」 → 「MLD Snooping Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Global Setting

「Global State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

VLAN Status Setting

「VID」: 対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

VLAN Querier Status Setting

「VID」: 対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

VLAN Fast Leave Settings

「VID」: 対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

MLD Snooping Table

MLDスヌーピングテーブルを確認できます。

MLD Snooping Settings

Global Settings

Global State
☐ Enabled
☒ Disabled
Apply

VLAN Status Settings

VID(1-4094)
☐ Enabled
☒ Disabled
Apply

VLAN Querier Status Settings

VID(1-4094)
☐ Enabled
☒ Disabled
Apply

VLAN Fast Leave Settings

VID(1-4094)
☐ Enabled
☒ Disabled
Apply

MLD Snooping Table

Total Entries: 2

VID	VLAN Name	Status	Querier Status	Fast Leave
1	VLAN0001	Disabled	Disabled	Disabled
2	VLAN0002	Disabled	Disabled	Disabled

1/1
1
Go

2-6-34 MLD Snooping Groups Settings (MLD Snooping グループ設定)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「MLD Snooping」 → 「MLD Snooping Groups Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

MLD Snooping Static Groups Settings

「VID」：登録または削除するグループのVLAN IDを入力します。

「Group Address」：登録または削除するグループのIPアドレスを入力します。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定を削除します。

MLD Snooping Groups Settings

MLD Snooping Static Groups Settings

VID (1-4094)

Group Address

From Port

To Port

Total Entries: 0

VID	Groups Address	Ports

MLD Snooping Groups Table

Total Entries: 0

VID	Groups Address	Source Address	FM	Exp(sec)	Ports

2-6-35 Multicast Filtering (マルチキャストフィルタリング)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「Multicast Filtering」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Multicast Filtering Mode」: マルチキャストフィルタリングのモードを選択します。

• 選択肢「Forward Unregistered」「Filter Unregistered」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



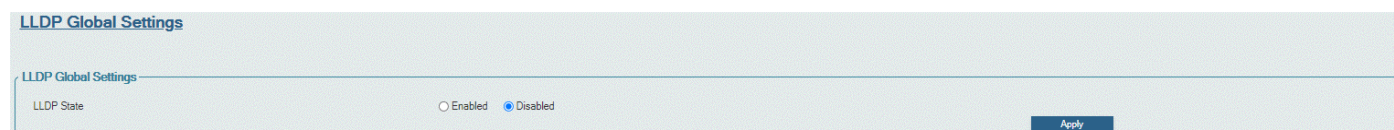
2-6-36 LLDP Global Settings (LLDP グローバル設定)

「L2Features」 → 「LLDP」 → 「LLDP Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「LLDP State」: 「Enabled」(有効) または 「Disabled」(無効) を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

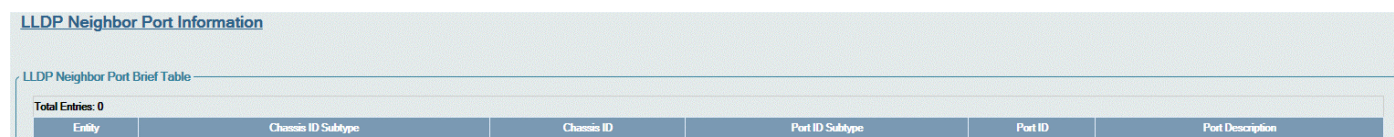


2-6-37 LLDP Neighbor Port Information (LLDP 受信ポート情報)

「L2Features」 → 「LLDP」 → 「LLDP Neighbor Port Information」の順にクリックします。

LLDP Neighbor Port Brief Table

隣接機器から受信したポート情報が表示されます。



Entity	Chassis ID Subtype	Chassis ID	Port ID Subtype	Port ID	Port Description
Total Entries: 0					

QOS（QOS 機能の設定）

2-7-1 802.1p Priority Settings（802.1p 優先制御）

「Qos」→「802.1p Priority」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Port Scheduler Method

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Scheduler Method」:スケジューリング設定を選択します。

- 選択肢：「SP」「WRR」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Port Default CoS

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Default CoS」:デフォルトCosを選択します。

- 選択肢：「Low」「Medium」「High」「Highest」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

802.1p Priority Settings

Port Scheduler Method

From Port
eth1/0/1

To Port
eth1/0/1

Scheduler Method
WRR WRR: Low:Medium:High:Highest=1:2:4:8

Apply

Port Default CoS

From Port
eth1/0/1

To Port
eth1/0/1

Default CoS
Low

Apply

802.1p Priority Table

Class	Class 0 (Low queue)	Class 1 (Middle queue)	Class 2 (High queue)	Class 3 (Highest queue)
802.1p priority	1,2	0,3	4,5	6,7

Port	Scheduler Method	Default
eth1/0/1	WRR	Middle
eth1/0/2	WRR	Middle
eth1/0/3	WRR	Middle
eth1/0/4	WRR	Middle
eth1/0/5	WRR	Middle
eth1/0/6	WRR	Middle
eth1/0/7	WRR	Middle
eth1/0/8	WRR	Middle
eth1/0/9	WRR	Middle
eth1/0/10	WRR	Middle
eth1/0/11	WRR	Middle
eth1/0/12	WRR	Middle

2-7-2 Port Rate Limiting（ポート転送速度制限）

「Qos」→「Port Rate Limiting」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Rate Limit(Granularity is 100 Kbps)」:レート制限の値を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Port Rate Limiting

Port Rate Limiting

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 Direction: Input Rate Limit (Granularity is 100 Kbps): 100-1048576 Kbps

Note: The input value of rate limit will auto round up to next possible value base on 100 Kbps.

Apply

Port	Input (Rate)
eth1/0/1	No Limit
eth1/0/2	No Limit
eth1/0/3	No Limit
eth1/0/4	No Limit
eth1/0/5	No Limit
eth1/0/6	No Limit
eth1/0/7	No Limit
eth1/0/8	No Limit
eth1/0/9	No Limit
eth1/0/10	No Limit
eth1/0/11	No Limit
eth1/0/12	No Limit

2-7-3 Port Trust State（ポートの信頼性）

「Qos」→「Port Trust State」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Trust State」:入力パケットの分類方法を選択します。

- 選択肢:「CoS」「DSCP」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Port Trust State

Port Trust State

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 Trust State: CoS

Apply

Port	Trust State
eth1/0/1	Trust CoS
eth1/0/2	Trust CoS
eth1/0/3	Trust CoS
eth1/0/4	Trust CoS
eth1/0/5	Trust CoS
eth1/0/6	Trust CoS
eth1/0/7	Trust CoS
eth1/0/8	Trust CoS
eth1/0/9	Trust CoS
eth1/0/10	Trust CoS
eth1/0/11	Trust CoS
eth1/0/12	Trust CoS

2-7-4 DSCP CoS Mapping (DSCP CoS マッピング)

「Qos」 → 「DSCP CoS Mapping」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「CoS」 : CoS値を入力します。

「DSCP List(0-63)」 : DSCPリスト範囲を入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

DSCP CoS Mapping

CoS

0 ▼

DSCP List (0-63)

Apply

CoS	DSCP List
0	0-7
1	8-15
2	16-23
3	24-31
4	32-39
5	40-47
6	48-55
7	56-63

Security（セキュリティ機能の設定）

2-8-1 Port Security Port Settings（ポートセキュリティ設定）

「Security」→「Port Security」→「Port Security Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Maximum(0-64)」:記録可能な最大MACアドレス数を入力します。

「Violation Action」:最大MACアドレス数超過時のアクションを選択します。

- 選択肢:「Protect」「Restrict」「Shutdown」

「Aging Time(0-1440)」:エイジングタイムを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Port Security Port Settings

Port Security Port Settings

From Port

To Port

State

Maximum (0-64)

Violation Action

Aging Time (0-1440)

Apply

Port	Maximum	Current No.	Violation Action	Violation Count	Admin State	Current State	Aging Time
eth1/0/1	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/2	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/3	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/4	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/5	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/6	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/7	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/8	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/9	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/10	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/11	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/12	32	0	Protect	-	Disabled	-	0

2-8-2 Port Security Address Entries (ポートセキュリティアドレスエントリー)

「Security」→「Port Security」→「Port Security Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

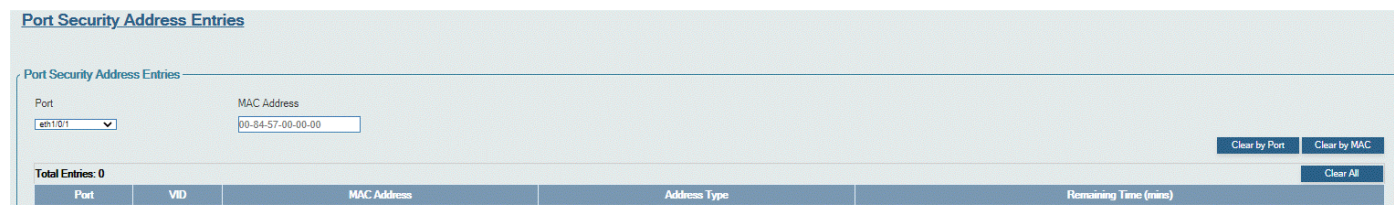
「Port」:設定対象のポートを選択します。

「MAC Address」:対象のMACアドレスを選択します。

※「Clear by Port」をクリックするとポートをクリアします。

※「Clear by MAC」をクリックするとMACアドレスをクリアします。

※「Clear ALL」をクリックするとポートおよびMACアドレスをクリアします。



2-8-3 802.1X Global Settings (802.1X グローバル設定)

「Security」→「802.1X」→「802.1X Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「802.1X State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Authentication Method」:認証方式を選択します。

- 選択肢:「Local User」「RADIUS」

「Forward PDU」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Re-authenticate」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Re-authenticate Period(1-3600)」:再認証時間を入力します。

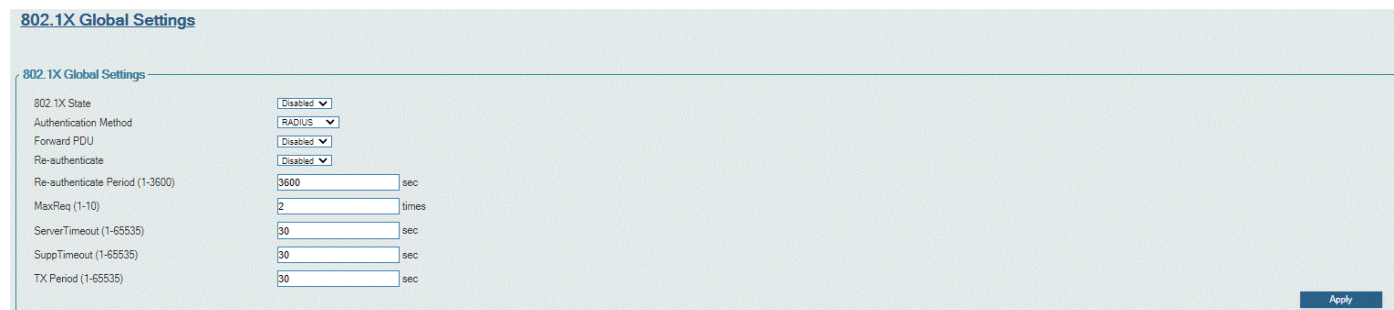
「MaxReq(1-10)」:最大リクエスト数を入力します。

「ServerTimeout(1-65535)」:サーバータイムアウト時間を入力します。

「SuppTimeout(1-65535)」:Suppタイムアウト時間を入力します。

「TX Period(1-65535)」:再送間隔を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



2-8-4 802.1X Port Settings (802.1X ポート設定)

「Security」→「802.1X」→「802.1X Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Port Control」:ポートコントロールを選択します。

- 選択肢:「ForceAuthorized」「Auto」「ForceUnauthorized」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

802.1X Port Settings

802.1X Port Settings

From Port: To Port: Port Control: Apply

Port	Port Control
eth1/0/1	Force Authorized
eth1/0/2	Force Authorized
eth1/0/3	Force Authorized
eth1/0/4	Force Authorized
eth1/0/5	Force Authorized
eth1/0/6	Force Authorized
eth1/0/7	Force Authorized
eth1/0/8	Force Authorized
eth1/0/9	Force Authorized
eth1/0/10	Force Authorized
eth1/0/11	Force Authorized
eth1/0/12	Force Authorized

2-8-5 802.1X Local-user (802.1X ローカルユーザー)

「Security」→「802.1X」→「802.1X Local-user」の順にクリックします。

「Username」:ユーザー名を入力します。

「Password」:パスワードを入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

※「Delete ALL」をクリックすると設定が全て削除されます。

Local-user

Local-user

Username: Password: Add

Total Entries: 0

Username	Password	Delete ALL
----------	----------	------------

2-8-6 Authentication Sessions Information (再認証セッション情報)

「Security」→「802.1X」→「Authentication Sessions Information」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

※「Init by Port」をクリックするとポート別再認証を行います。

※「ReAuth by Port」をクリックするとポート別再認証を行います。

Authentication Sessions Information

Authentication Sessions Information

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1

Init by Port ReAuth by Port

2-8-7 Authenticator Statistics (オーセンティケータ統計情報)

「Security」→「802.1X」→「Authenticator Statistics」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

※「Find」をクリックすると選択したポート範囲の情報を表示します。

※「Clear Counters」をクリックするとカウンターをクリアします。

※「Clear ALL」をクリックすると全ての情報をクリアします。

Authenticator Statistics

Authenticator Statistics

Port: eth1/0/1 Find Clear Counters Clear All

Total Entries: 12

Port	EAPOL										Supplicant		RADIUS				
	Frames RX	Frames TX	Start RX	Reauth TX	LogOff RX	Req TX	RespId RX	Resp RX	Invalid RX	Error RX	Last Source	Last ID	Responses	Access Challenges	Requests To Supplicant	Auth Successes	Auth Fails
eth1/0/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0

1/1 < > 1 Go

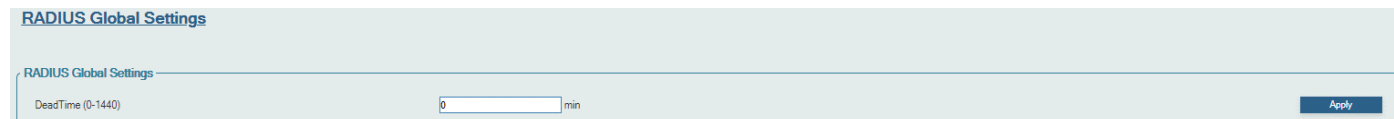
2-8-8 RADIUS Global Settings (RADIUS グローバル設定)

「Security」→「RADIUS」→「RADIUS Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「DeadTime(0-1440)」:デッドタイムを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'RADIUS Global Settings' form. It has a title bar 'RADIUS Global Settings' and a main content area. In the main area, there is a label 'DeadTime (0-1440)' followed by a text input field containing the value '0' and a unit 'min'. To the right of the input field is an 'Apply' button.

2-8-9 RADIUS Server Settings (RADIUS サーバ設定)

「Security」→「RADIUS」→「RADIUS Server Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「IP Address」:チェックを入れ、RADIUSサーバのIPv4アドレスを入力します。

「IPv6 Address」:チェックを入れ、RADIUSサーバのIPv6アドレスを入力します。

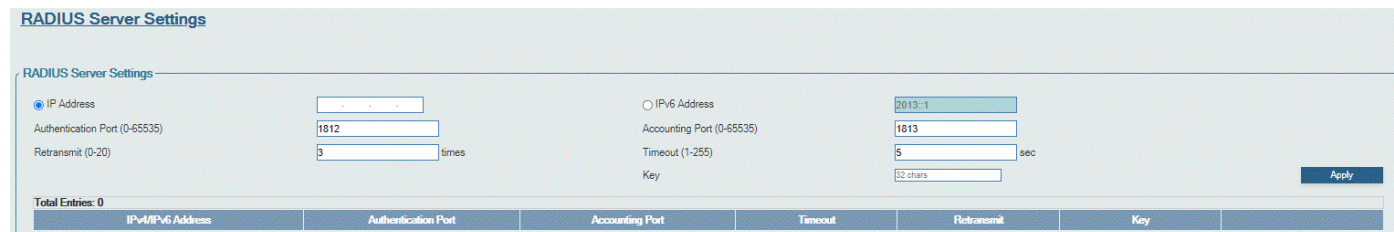
「Authentication Port(0-65535)」:RADIUS認証サーバのUDPポートを入力します。

「Retransmit(0-20)」:再転送間隔を入力します。

「Timeout(1-255)」:タイムアウト時間を入力します。

「Key」:RADIUSサーバに設定したものと同一の鍵を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'RADIUS Server Settings' form. It has a title bar 'RADIUS Server Settings' and a main content area. The form is divided into two columns. The left column contains: a radio button for 'IP Address' (selected), a text input for 'Authentication Port (0-65535)' with value '1812', and a text input for 'Retransmit (0-20)' with value '3' and unit 'times'. The right column contains: a radio button for 'IPv6 Address', a text input for 'Accounting Port (0-65535)' with value '1813', a text input for 'Timeout (1-255)' with value '5' and unit 'sec', and a text input for 'Key' with value '32 chars'. At the bottom left, it says 'Total Entries: 0'. At the bottom right is an 'Apply' button. Below the main form is a table with 7 columns: 'IPv4/IPv6 Address', 'Authentication Port', 'Accounting Port', 'Timeout', 'Retransmit', 'Key', and an empty column.

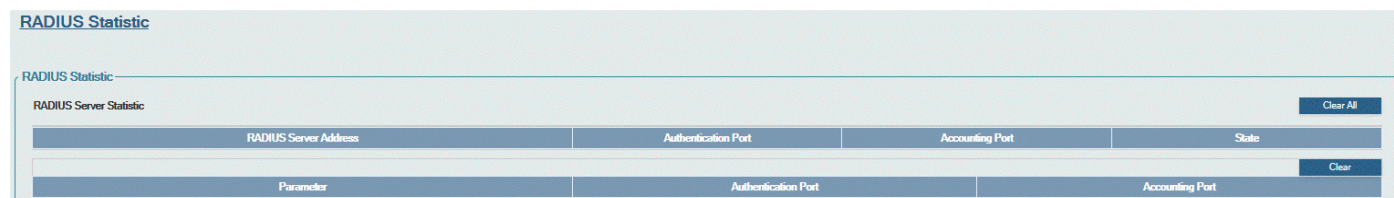
2-8-10 RADIUS Statistic Settings (RADIUS 統計情報設定)

「Security」→「RADIUS」→「RADIUS Server Settings」の順にクリックします。

RADIUS統計情報が表示されます。

※「Clear ALL」をクリックすると全ての情報をクリアします。

※「Clear」をクリックすると情報をクリアします。



The screenshot shows the 'RADIUS Statistic' form. It has a title bar 'RADIUS Statistic' and a main content area. The main area is divided into two sections. The top section is 'RADIUS Server Statistic' and contains a table with 4 columns: 'RADIUS Server Address', 'Authentication Port', 'Accounting Port', and 'State'. To the right of this table is a 'Clear All' button. The bottom section is 'Parameter' and contains a table with 3 columns: 'Parameter', 'Authentication Port', and 'Accounting Port'. To the right of this table is a 'Clear' button.

2-8-11 Web Authentication (Web 認証)

「Security」→「Web-based Access Control」→「Web Authentication」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Web Authentication State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

「Virtual IPv4」: 仮想IPv4アドレスを入力します。

「Virtual IPv6」: 仮想IPv6アドレスを入力します。

「Redirection Path」: リダイレクションパスを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Web Authentication

Web Authentication State ☐ Enabled ☒ Disabled Apply

Virtual IPv4 Virtual IPv6

Redirection Path Apply

2-8-12 WAC Port Settings (WAC ポート設定)

「Security」→「Web-based Access Control」→「WAC Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」: 設定対象のポート範囲を選択します。

「State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

WAC Port Settings

From Port To Port State Apply

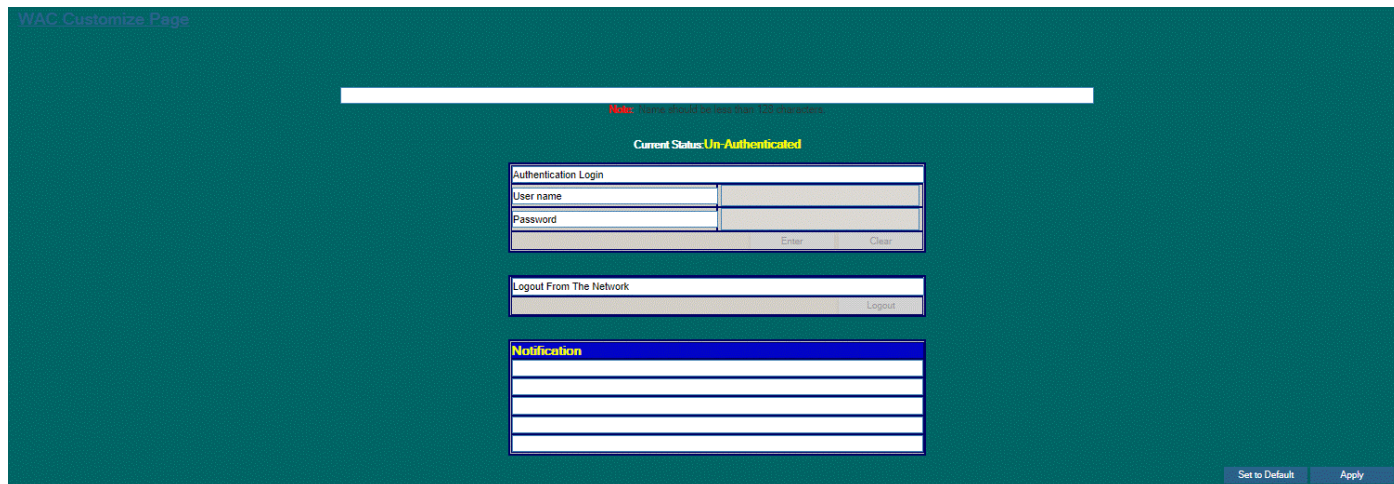
Port	State
eth1/0/1	Disabled
eth1/0/2	Disabled
eth1/0/3	Disabled
eth1/0/4	Disabled
eth1/0/5	Disabled
eth1/0/6	Disabled
eth1/0/7	Disabled
eth1/0/8	Disabled
eth1/0/9	Disabled
eth1/0/10	Disabled
eth1/0/11	Disabled
eth1/0/12	Disabled

2-8-13 WAC Customize Page (WAC カスタマイズページ)

「Security」→「Web-based Access Control」→「WAC Customize Page」の順にクリックします。

WAC ページの設定を行うためにはこの画面のWAC認証情報をすべて入力し、「Apply」ボタンをクリックして行った変更を適用します。

※「Set to default」ボタンをクリックすると全項目を初期設定に復元します。



WAC Customize Page

Warning: Please check the password for security.

Current Status: **Un-Authenticated**

Authentication Login

User name	
Password	
<input type="button" value="Enter"/> <input type="button" value="Clear"/>	

Logout From The Network

<input type="button" value="Logout"/>

Notification

2-8-14 Traffic Segmentation Settings (トラフィックセグメンテーション設定)

「Security」→「Traffic Segmentation」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

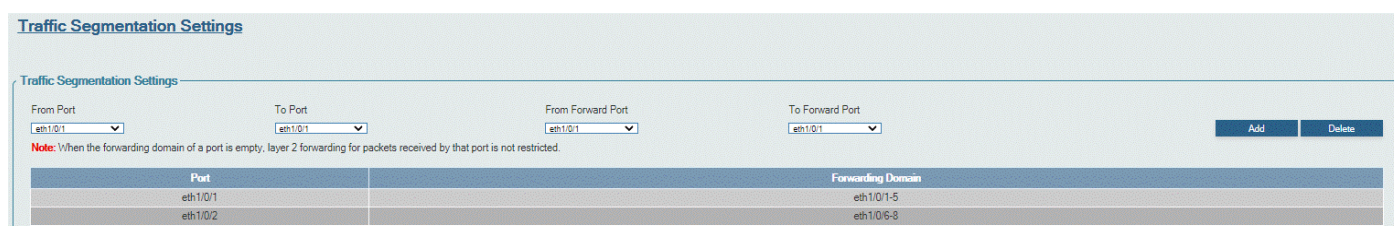
Traffic Segmentation Settings

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「From Forward Port/To Forward Port」：設定対象のフォワードポート範囲を選択します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

※「Delete」をクリックすると設定が削除されます。



Traffic Segmentation Settings

From Port: To Port: From Forward Port: To Forward Port:

Note: When the forwarding domain of a port is empty, layer 2 forwarding for packets received by that port is not restricted.

Port	Forwarding Domain
eth1/0/1	eth1/0/1-5
eth1/0/2	eth1/0/6-8

2-8-15 Storm Control Settings (ストームコントロール設定)

「Security」→「Storm Control」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Type」:制限するストームの種類を選択します。

選択肢:「Broadcast」「Multicast」「Unicast」

「Status」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「PPS Rise(1-1024000,Auto apply to next bigger valid value)」: 制限するデータレートを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Storm Control Settings

Storm Control Settings

Type

Status

PPS Rise (1-1024000, Auto apply to next bigger valid value)

Broadcast

Disabled

pps

Note: PPS valid value are - 1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256, 512, 1K, 2K, 4K, 8K, 16K, 32K, 64K, 128K, 256K, 512K or 1024K.

Apply

Storm	Status	Threshold
Unicast	Disabled	1
Multicast	Disabled	1
Broadcast	Disabled	1

2-8-16 Dos Attack Prevention Settings (Dos 攻撃防止設定)

「Security」→「Dos Attack Prevention Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「DoS Type Selection」:Dos攻撃防止タイプにチェックを入れます。

「Status」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Action」:Dos攻撃防止により行われるアクションを選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DoS Attack Prevention Settings

DoS Type Selection

☒Land Attack
☒Blat Attack
☒TCP Null Scan
☒TCP Xmascan

☒TCP SYN-FIN
☒TCP SYN Src Port Less 1024
☒Ping Death Attack

☒All Types

DoS Settings

State

Action

Disabled

Drop

Apply

DoS Type	State	Action
Land Attack	Disabled	Drop
Blat Attack	Disabled	Drop
TCP Null Scan	Disabled	Drop
TCP Xmascan	Disabled	Drop
TCP SYN-FIN	Disabled	Drop
TCP SYN Src Port Less 1024	Disabled	Drop
Ping Death Attack	Disabled	Drop

2-8-17 SSH Global Settings (SSH グローバル設定)

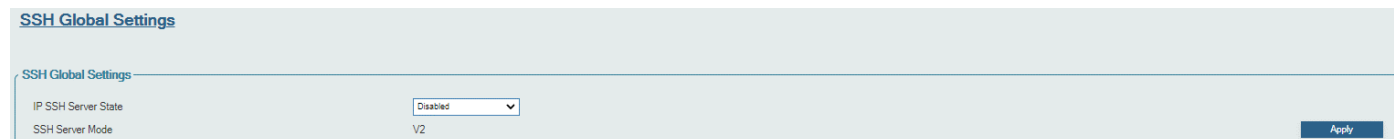
「Security」→「SSH」→「SSH Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「IP SSH Server State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「SSH Server Mode」:V2固定

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'SSH Global Settings' configuration page. It has a title bar 'SSH Global Settings' and a main content area. In the content area, there are two settings: 'IP SSH Server State' with a dropdown menu currently set to 'Disabled', and 'SSH Server Mode' with a fixed value of 'V2'. An 'Apply' button is located at the bottom right of the settings area.

2-8-18 SSL Global Settings (SSL グローバル設定)

「Security」→「SSL」→「Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SSL Global Settings

「SSL State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

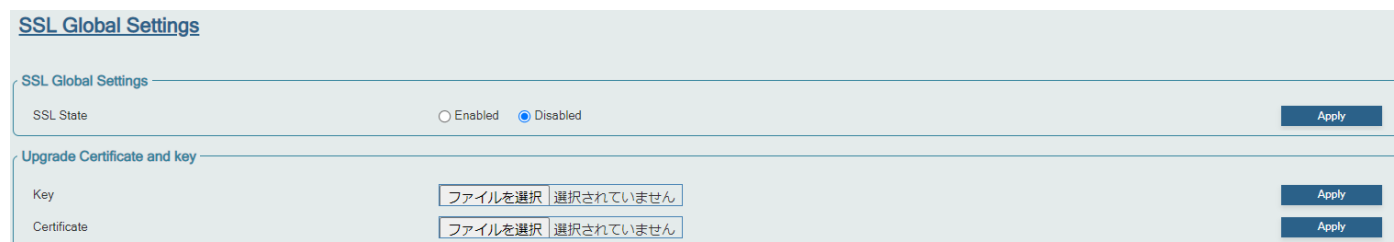
Upgrade Certificate and key

「Key」: ファイルを選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

「Certificate」: ファイルを選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'SSL Global Settings' configuration page. It has a title bar 'SSL Global Settings' and a main content area. The content area is divided into two sections. The first section, 'SSL Global Settings', contains 'SSL State' with radio buttons for 'Enabled' and 'Disabled' (where 'Disabled' is selected). The second section, 'Upgrade Certificate and key', contains two rows: 'Key' and 'Certificate'. Each row has a file selection button labeled 'ファイルを選択' and a status indicator '選択されていません'. There are 'Apply' buttons at the bottom right of each section.

OAM（OAM 機能の設定）

2-9-1 Cable Diagnostics（ケーブル診断機能）

「OAM」→「Cable Diagnostics」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

※「Test」をクリックするとテストが開始されます。

※「Clear ALL」をクリックするとテスト結果が全てクリアされます。

※「Clear」をクリックするとテスト結果がクリアされます。

Cable Diagnostics

From Port
eth1/0/1

To Port
eth1/0/1

Test

Clear All

Port	Type	Link Status	Test Result	Cable Length (M)	
eth1/0/1	1000BaseT	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/2	1000BaseT	Link Up	-	-	Clear
eth1/0/3	1000BaseT	Link Up	-	-	Clear
eth1/0/4	1000BaseT	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/5	1000BaseT	Link Up	-	-	Clear
eth1/0/6	1000BaseT	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/7	1000BaseT	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/8	1000BaseT	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/9	1000BaseT	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/10	1000BaseT	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/11	None	Link Down	-	-	Clear
eth1/0/12	None	Link Down	-	-	Clear

2-9-2 DDM Settings (DDM 設定)

「OAM」→「DDM」→「DDM Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

DDM Global Settings

「Transceiver Monitoring Traps Alarm」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Transceiver Monitoring Traps Warning」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DDM Shutdown Settings

「From Port/To Port」: 設定対象のポート範囲を選択します。

「State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Shutdown」: ポートをシャットダウンする基準を選択します。

- 選択肢: 「Alarm」 「Warning」 「None」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DDM Settings

DDM Global Settings

Transceiver Monitoring Traps Alarm
☒ Disabled
☐ Enabled

Transceiver Monitoring Traps Warning
☒ Disabled
☐ Enabled

Apply

DDM Shutdown Settings

From Port
eth1/0/1
To Port
eth1/0/1
State
Disabled
Shutdown
Alarm

Apply

Port	State	Shutdown
eth1/0/11	Disabled	None
eth1/0/12	Disabled	None

2-9-3 DDM Temperature Threshold Settings (DDM 温度しきい値設定)

「OAM」→「DDM」→「DDM Temperature Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Value(-128-127.996)」：温度の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DDM Temperature Threshold Settings

DDM Temperature Threshold Settings

Port

eth1/0/1

Action

Add

Type

Low Alarm

Value (-128-127.996)

Celsius

Apply

Port	Current	High Alarm (Celsius)	High Warning (Celsius)	Low Warning (Celsius)	Low Alarm (Celsius)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

Note: ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm
A: The threshold is administratively configured.

2-9-4 DDM Voltage Threshold Settings (DDM 電圧しきい値設定)

「OAM」→「DDM」→「DDM Voltage Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Value(0-6,55)」：電圧の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DDM Voltage Threshold Settings

DDM Voltage Threshold Settings

Port

eth1/0/1

Action

Add

Type

Low Alarm

Value (0-6.55)

V

Apply

Port	Current	High Alarm (V)	High Warning (V)	Low Warning (V)	Low Alarm (V)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

Note: ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm
A: The threshold is administratively configured.

2-9-5 DDM Bias Current Threshold Settings (DDM 電流しきい値設定)

「OAM」→「DDM」→「DDM Bias Current Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Value(0-131)」：電流の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DDM Bias Current Threshold Settings

DDM Bias Current Threshold Settings

Port
Action
Type
Value (0-131)

eth1/0/1
Add
Low Alarm
mA
Apply

Port	Current	High Alarm (mA)	High Warning (mA)	Low Warning (mA)	Low Alarm (mA)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

Note: ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm
A: The threshold is administratively configured.

2-9-6 DDM TX Power Threshold Settings (DDM 送信電力しきい値設定)

「OAM」→「DDM」→「DDM TX Power Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Power Unit」：単位を選択します。

- 選択肢：「mW」「dBm」

「Value(0-6,5535)」：送信電力の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DDM TX Power Threshold Settings

DDM TX Power Threshold Settings

Port
Action
Type
Power Unit
Value (0-6.5535)

eth1/0/1
Add
Low Alarm
mW
mW
Apply

Port	Current	High Alarm (mW)	High Warning (mW)	Low Warning (mW)	Low Alarm (mW)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

Note: ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm
A: The threshold is administratively configured.

2-9-7 DDM RX Power Threshold Settings (DDM 受信電力しきい値設定)

「OAM」→「DDM」→「DDM TX Power Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Power Unit」：単位を選択します。

- 選択肢：「mW」「dBm」

「Value(0-6,5535)」：受信電力の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

DDM RX Power Threshold Settings

DDM RX Power Threshold Settings

Port	Action	Type	Power Unit	Value (0-6.5535)	
eth1/0/1	Add	Low Alarm	mW		Apply

Port	Current	High Alarm (mW)	High Warning (mW)	Low Warning (mW)	Low Alarm (mW)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

Note: ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm
A: The threshold is administratively configured.

2-9-8 DDM Status Table (DDM ステータステーブル)

「OAM」→「DDM」→「DDM Status Table」の順にクリックします。

SFPモジュールで現在操作中のDDMパラメータ値を表示します。

DDM Status Table

DDM Status Table

Total Entries: 2

Port	Temperature (Celsius)	Voltage (V)	Bias Current (mA)	TX Power (mW)	RX Power (mW)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

Note: ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm

Monitoring（モニタリング機能の設定）

2-10-1 Port Counters（ポートカウンタ）

「Monitoring」→「Statistics」→「Port Counters」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：対象のポート範囲を選択します。

「Find」・「Refresh」・「Clear」・「Clear ALL」のいずれかをクリックします。

- ・「Find」：選択したポート範囲の情報を表示します。
- ・「Refresh」：ポートカウンタ統計テーブルを更新します。
- ・「Clear」：選択したポートカウンタ統計テーブルを消去します。
- ・「Clear ALL」：ポートカウンタ統計テーブルを全て消去します。

Port Counters

Port Counters

From Port: To Port:

Find Refresh
Clear Clear All

Port	TxOK	TxErr	RxOK	RxErr
eth1/0/1	20157	0	136287	0
eth1/0/2	0	0	0	0
eth1/0/3	0	0	0	0
eth1/0/4	0	0	0	0
eth1/0/5	0	0	0	0
eth1/0/6	0	0	0	0
eth1/0/7	0	0	0	0
eth1/0/8	0	0	0	0
eth1/0/9	0	0	0	0
eth1/0/10	0	0	0	0
eth1/0/11	0	0	0	0
eth1/0/12	0	0	0	0

2-10-2 Mirror Settings（ミラーリング設定）

「Monitoring」→「Mirror Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Mirror Settings

Destination

「Port」：ミラーリング先ポート選択します。

Source

「From Port/To Port」：送信元ポート範囲を選択します。

「Frame Type」：フレームタイプを選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定が消去されます。

Mirror Session Table

ミラーリングの設定内容が表示されます。

Mirror Settings

Destination
Port
eth1/0/1

From Port
eth1/0/1
To Port
eth1/0/1
Frame Type
RX

Source
eth1/0/1

Apply
Delete

Mirror Session Table

Source Ports			Destination port
Both	RX	TX	

Green（省電力テクノロジー）

2-11-1 Power Saving（節電設定）

「Green」→「Power Saving」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

Power Saving Global Settings

「Function Version」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Link Detection Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Scheduled Port-shutdown Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Scheduled Hibernation Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Scheduled Dim-LED Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Administrative Dim-LED

「Administrative Dim-LED」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Time Profile Settings

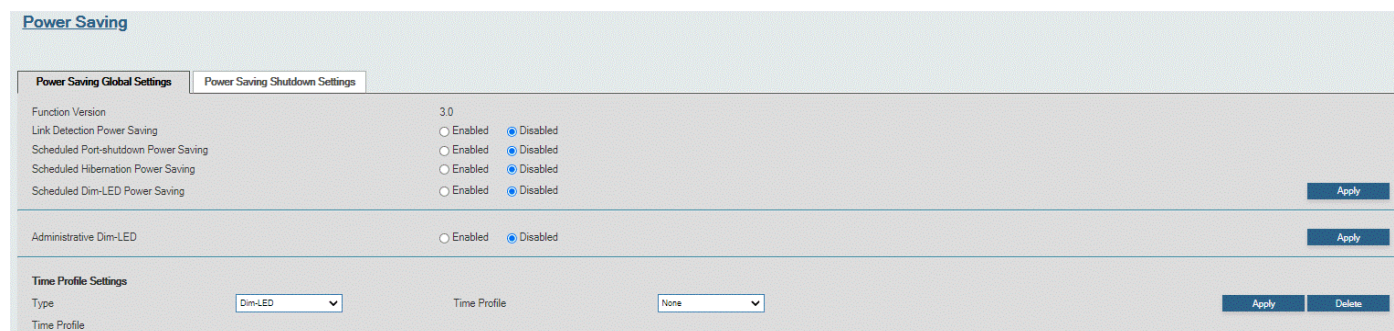
「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Dim-LED」「Hibernation」

「Time Profile」：「None」固定

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定が消去されます。



Power Saving Shutdown Settings

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「Time Profile」：「None」固定

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定が消去されます。

Power Saving

Power Saving Global Settings

Power Saving Shutdown Settings

From Port
eth1/0/1

To Port
eth1/0/1

Time Profile
None

Apply

Total Entries: 12

2-11-2 EEE（省電力イーサネット）

「Green」→「EEE」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

EEE

EEE Settings

From Port
eth1/0/1

To Port
eth1/0/1

State
Disabled

Apply

Tools (Tools メニュー)

2-12-1 Firmware Information (ファームウェア情報)

「Tool」→「Firmware Information」の順にクリックします。

ファームウェア情報が表示されます。

※「Boot UP」をクリックすると起動します。

Firmware Information

Image ID	Version	Size (B)	Update Time	
*1c	1.00.04	5396953	Sep 30 2021 03:07:57	Boot UP
2	1.00.04	5396953	Sep 30 2021 03:15:57	Boot UP

c: Current boot up firmware
 *: Boot up firmware

2-12-2 Firmware Upgrade from HTTP (HTTP を使用したファームウェア更新)

「Tool」→「Firmware Upgrade/Backup」→「Firmware Upgrade from HTTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Source File」: ソースファイルを選択します。

※「Upgrade」をクリックするとファームウェア更新が始まります。

Firmware Upgrade from HTTP

Source File:

Destination: Image 2

2-12-3 Firmware Upgrade from TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェア更新)

「Tool」→「Firmware Upgrade/Backup」→「Firmware Upgrade from TFTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「TFTP Server IP」: TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Source File」: ファイル名を入力します。

※「Upgrade」をクリックするとファームウェア更新が始まります。

Firmware Upgrade from TFTP

TFTP Server IP:

Source File:

Destination: Image 2

2-12-4 Firmware Backup to HTTP (HTTP を使用したファームウェアバックアップ)

「Tool」→「Firmware Upgrade/Backup」→「Firmware Backup to HTTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います

「Source」:ソースを選択します。

※「Backup」をクリックするとバックアップが始まります。

Firmware Backup to HTTP



Source Image1 ▼ Backup

2-12-5 Firmware Backup to TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェアバックアップ)

「Tool」→「Firmware Upgrade/Backup」→「Firmware Backup to TFTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います

「TFTP Server IP」:TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Source」:ソースを選択します。

「Destination File」:宛先のファイル名を入力します。

※「Backup」をクリックするとバックアップが始まります。

Firmware Backup to TFTP



TFTP Server IP - . -
Source Image1 ▼
Destination File 64 chars Backup

2-12-6 Configuration Restore from HTTP (HTTP を使用した設定読み込み)

「Tool」→「Configuration/Restore Backup」→「Configuration Restore from HTTP」の順にクリックします。
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Source File」: ファイルを選択します。

- ・「Effective immediately (running-config)」: running-config に読み込む場合に選択します。
- ・「Take effect after the next boot (startup-config)」: startup-config に読み込む場合に選択します。

※「Restore」をクリックすると読み込みが始まります。

The screenshot shows the 'Configuration Restore from HTTP' page. It has a title bar with the same text. Below the title, there is a 'Source File' label and a text input field containing the placeholder text 'ファイルを選択' (Select file) and '選択されていません' (Not selected). Below this, there are two radio buttons: 'Effective immediately (running-config)' which is selected, and 'Take effect after the next boot (startup-config)'. At the bottom right, there is a blue button labeled 'Restore'.

2-12-7 Configuration Restore from TFTP (TFTP サーバを使用した設定読み込み)

「Tool」→「Configuration/Restore Backup」→「Configuration Restore from TFTP」の順にクリックします。
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「TFTP Server IP」: TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Source File」: ファイル名を入力します。

- ・「Effective immediately (Running-config)」: running-config に読み込む場合に選択します。
- ・「Take effect after the next boot (startup-config)」: startup-config に読み込む場合に選択します。

※「Restore」をクリックすると読み込みが始まります。

The screenshot shows the 'Configuration Restore from TFTP' page. It has a title bar with the same text. Below the title, there is a 'TFTP Server IP' label and a text input field containing three dots. Below this, there is a 'Source File' label and a text input field containing the placeholder text '64 chars'. Below this, there are two radio buttons: 'Effective immediately (running-config)' which is selected, and 'Take effect after the next boot (startup-config)'. At the bottom right, there is a blue button labeled 'Restore'.

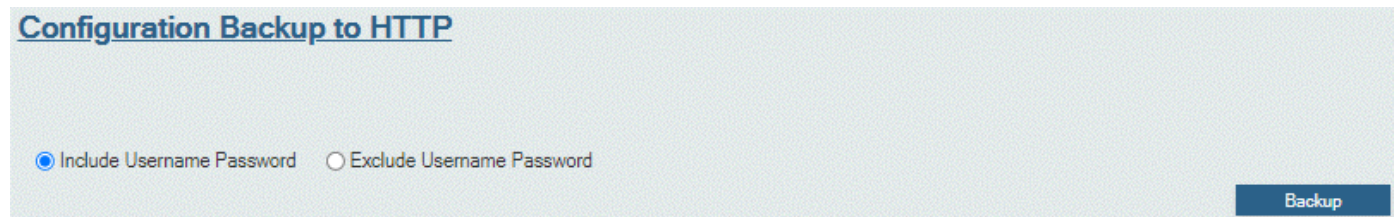
2-12-8 Configuration Backup to HTTP（HTTP を使用した設定のバックアップ）

「Tool」→「Configuration/Restore Backup」→「Configuration Restore to HTTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

- ・「Include Username Password」:ユーザー名・パスワードを含む場合に選択します。
- ・「Exclude Username password」:ユーザー名・パスワードを含まない場合に選択します。

※「Backup」をクリックするとバックアップが始まります。



2-12-9 Configuration Backup to TFTP（TFTP サーバを使用した設定のバックアップ）

「Tool」→「Configuration/Restore Backup」→「Configuration Restore to TFTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

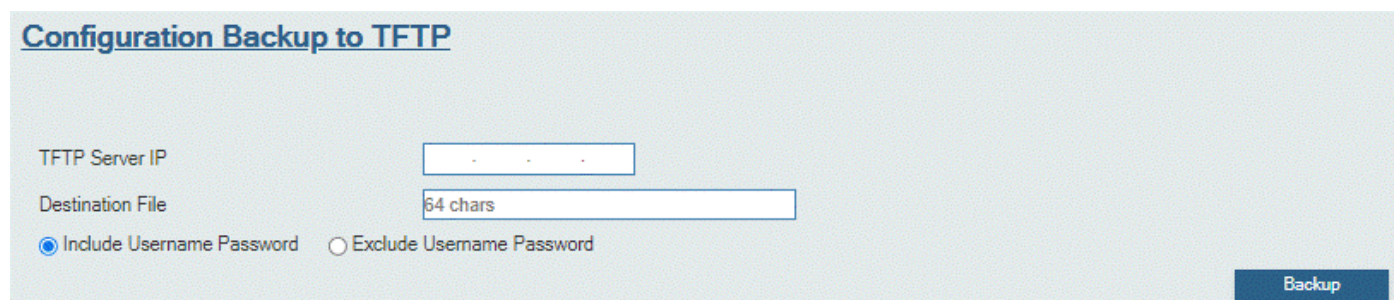
「TFTP Server IP」:TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Destination File」:宛先のファイル名を入力します。

「Include Username Password」:ユーザー名・パスワードを含む場合に選択します。

「Exclude Username password」:ユーザー名・パスワードを含まない場合に選択します。

※「Backup」をクリックするとバックアップが始まります。

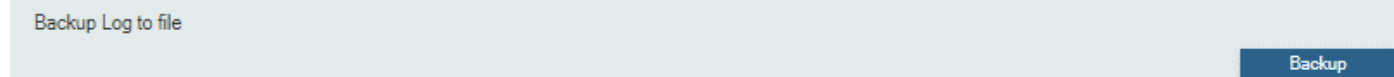


2-12-10 Log Backup to HTTP（HTTP を使用したログのバックアップ）

「Tool」→「Log Backup」→「Log Backup to HTTP」の順にクリックします。

※「Backup」をクリックするとバックアップが始まります。

Log Backup to HTTP



2-12-11 Log Backup to TFTP（TFTP サーバを使用したログのバックアップ）

「Tool」→「Log Backup」→「Log Backup to TFTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「TFTP Server IP」:TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Destination File」:宛先のファイル名を入力します。

※「Backup」をクリックするとバックアップが始まります。

Log Backup to TFTP



2-12-12 Ping（Ping テスト）

「Tool」→「Ping」の順にクリックします。

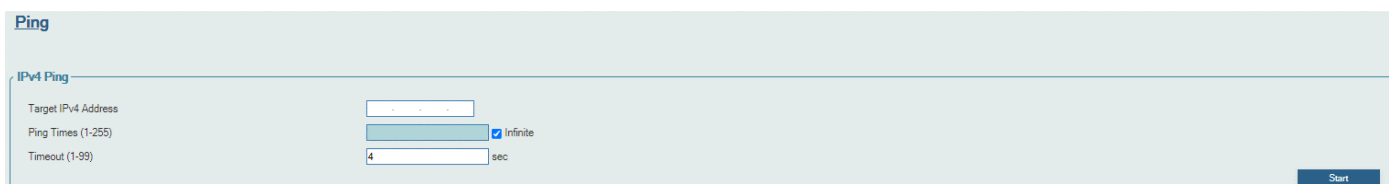
Ipv4 Ping

「Target IPv4 Address」:送信対象のIPv4アドレスを入力します。

「Ping Times(1-255)」:送信間隔を入力します。

「Timeout(1-99)」:タイムアウト時間を入力します。

※「Start」をクリックするとPingテストが始まります。



2-12-13 Reset（初期化）

「Tool」→「Reset」の順にクリックします。

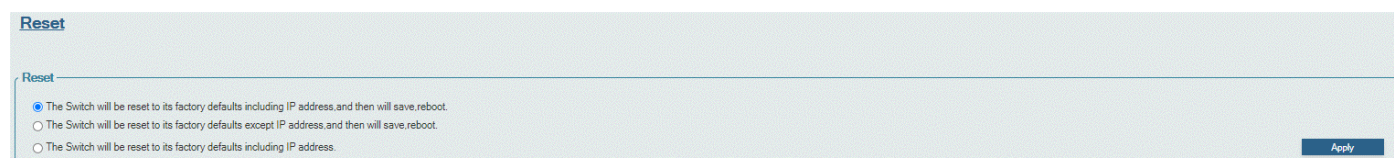
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「The Switch will be reset to factory default Including IP address, and then will save, reboot」:設定を初期化（IPアドレス含む）し、saveする場合に選択します。

「The Switch will be reset to factory default except IP address, and then will save, reboot」: 設定を初期化（IPアドレス含まない）し、saveする場合に選択します。

「The Switch will be reset to factory default including IP address」: 設定を初期化（IPアドレス含む）する場合に選択します。

※「Apply」をクリックすると初期化が始まります。



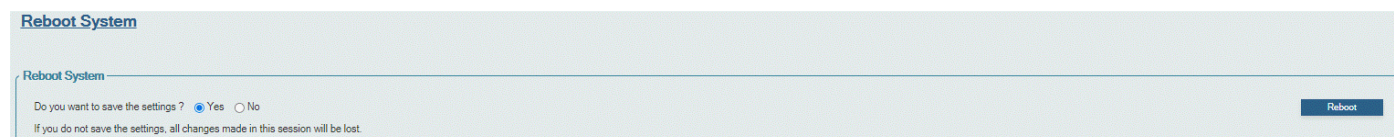
2-12-14 Reboot System（再起動）

「Tool」→「Reboot System」

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Do you want to save the setting?」: 「Yes」または「No」を選択します。

※「Reboot」をクリックすると再起動が始まります。



Save (Save メニュー)

2-13-1 Save configuration (設定の保存)

「Save」をクリックします。

Save Configuration

※「Apply」をクリックすると設定が保存されます。

Save Configuration

Save Configuration

Please press the "Apply" button to save system settings to flash.

Apply

製品仕様

標準規格		IEEE802.3 / IEEE802.3u / IEEE802.3ab / IEEE802.3x / IEEE802.1D / IEEE802.1w / IEEE802.1s / IEEE802.1p / IEEE802.1Q / IEEE802.3ad / IEEE802.1X / IEEE802.3af / IEEE802.3at / IEEE802.3az / IEEE802.3z
LANポート		RJ45 × 10 (PoE1~8) (10 / 100 / 1000M)
SFPポート		SFP × 2 (100 / 1000M)
通信方式		CSMA / CD、全二重 / 半二重
機能	スイッチングモード	ストア&フォワード方式
	総スループット	12.0Mbps (64byte)
	スイッチファブリック	24Gbps
	フレームバッファ	512Kbyte
	フラッシュメモリ	Flash: SPI 32MB / RAM: DDR II 128MB
	MACアドレス登録数	8000個 (最大)
	ARPテーブル	8000
	ACLエントリ	150
	ポート設定	ポート有効 / 無効、Auto-MDI/MDIX機能、Auto-Negotiation機能、Speed / Duplex / MDI固定、 HOLブロッキング防止機能、フロー制御 (half duplex、Full duplex IEEE802.3x standard)
	ループ検知機能	検知自動遮断、自動復旧
	スパンニングツリー	IEEE802.1D STP、IEEE802.1w RSTP
	ポートランク	Static 最大32グループ
	VLAN同時登録最大数	256
	VLAN	IEEE802.1Q VLAN Tagging、Port-based VLAN、VLAN (ID1-4095)、Private VLAN、アップリンク ポート複数作成、Isolated、Community、Voice VLAN
	トラフィック優先QoS	CoS / IEEE802.1p、DSCP、プライオリティキューイング8段階、スケジューリング (sp、wrr)、輻輳回避 (tail-drop)
	マルチキャスト	IGMP v1 / v2 / v3、IGMP Snooping v1 / v2 / v3
	ジャンボフレームサイズ	9,600bytes (最大)
	マネジメント	Webマネジメント、SNMP (v1 / v2c / v3)、SNMP over IPv6、Syslog (IPv4 / v6)、LLDP、Webからの FWアップデート、FW複数保存
	セキュリティ	MACアドレスフィルタリング、ACL、IPv6 ACL、DHCP Snooping、IPv6 DHCP Snooping、HTTPS
	その他	DHCPクライアント、ポートミラーリング (1:1、1:N)、ストームコントロール (Broadcast / Multicast / Unknown Unicast)
PoE機能	対応機器 (PD)	IEEE802.3af (15.4W) / IEEE802.3at (30W) 対応受電機器
	給電方式	Type A (1、2、3、6)
	最大給電電力 (1ポートあたり)	30W (PoE+)
	最大給電電力 (合計)	120W
LED表示	POWER	正常起動 (緑) 点灯、電源OFF (消灯)
	SYSTEM	ログイン・HTTP接続中 (緑) 点灯、ファームウェアアップデート中 (緑) 点滅、通信準備エラー (橙) 点 灯、システム起動・PoE失敗 (橙) 点滅
	PoE POWER BUDGET	PoE電力残量: 100% (Full緑) 点灯、75%以上100%未満 (75%緑) 点灯、50%以上75%未満 (50%緑) 点灯、25%以上50%未満 (25%緑) 点灯、15.4w以上25%未満 (25%橙) 点灯、15.4w未満 (25%橙) 点滅
	PORT LED 左 (LINK / ACT) 1~10	1000BASE-Xリンク確立時: (緑) 点灯、1000BASE-X通信中: (緑) 点滅、10 / 100BASE-FXリンク 確立時: (橙) 点灯、10 / 100BASE-FX通信中: (橙) 点滅、接続なし (消灯)
	PORT LED 右 (PoE) 1~8	PoE出力: 15.4W以下 (緑) 点灯、15.4W以上30W以下: (橙) 点滅、未使用 (消灯)
	SFP Port LED (LINK / ACT) 11~12	1000BASE-Xリンク確立時: (緑) 点灯、1000BASE-X通信中: (緑) 点滅、100BASE-FXリンク確立 時: (橙) 点灯、100BASE-FX通信中: (橙) 点滅、接続なし (消灯)
動作温度		0°C ~ 45°C
動作湿度		20% ~ 80% (結露なきこと)
保存温度		-20°C ~ 70°C
保存湿度		10% ~ 90% (結露なきこと)
外形寸法		210mm (W) × 160mm (D) × 44mm (H) (突起部含まず)
質量 (本体のみ)		1000g
電源		AC100V ~ 240V 50Hz / 60Hz
冷却ファン		なし (ファンレス)
筐体材質		メタル
消費電力		10W (PoE未使用時)、130W (PoE給電時)
保証期間		1年